

ECHO

[エコー誌]



ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区

2011.11
No. 498

<http://www.lc331-a.jp>

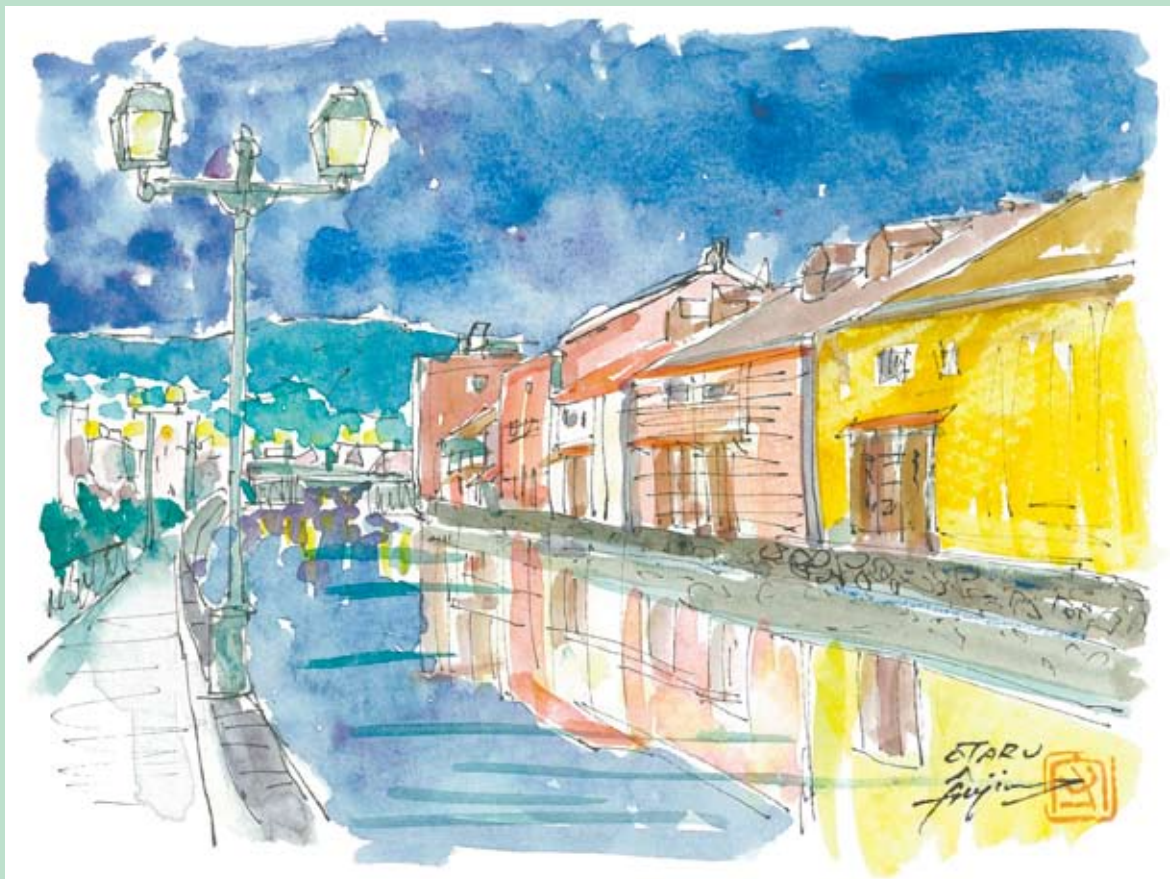


イラスト:L 藤原 守(札幌東LC)



ガバナーズローガン

「英知の奉仕と組織の活性化」

特
集

『10.8ライオンズデー統一アクティビティ』

当別町「道民の森」植樹アクティビティ実施報告

アクティビティを考える“献血活動”

■ リジョン特集(2R・5R)

■ 委員会報告

本紙は世界最大の奉仕団体ライオンズクラブの地域情報紙です



青いダック

＼新登場／

生きるための
がん保険 Days

アフラックは
「がん保険」も「医療保険」も
選ばれて契約件数NO.1※
※平成22年版「インシニアランス生命保険統計号」より



まねきねこダック

一生安心の「医療保険」

もっと頼れる医療保険

新EVER
エヴァー

◎商品の詳細はパンフレット(契約概要)をご覧ください。

〈引受保険会社〉

「生きる」を創る。

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)

札幌総合支社

〒060-0001 札幌市中央区北1条西 6-1-2

アーバンネット札幌ビル5F

Tel.011-221-2641 Fax.011-233-4445

Aflac

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

(株) ニューワールドファミリー

☎0120-225-565 FAX 011-222-7020

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目愛生館ビル3階

AF広告-2011-0011-1110505 2月28日

1R1Z 札幌ライオンズクラブ

最新の機器を完備し、リハビリ主体の治療を実践

札幌市北区にて平成3年より開業している篠路整形外科(池本吉一理事長、無床)では、体にメスをいれない「保存療法」による治療法に力を注いでいます。

①正確かつ迅速な診断及び治療、②リハビリテーションを主体とした治療、③予防医学としての転倒予防の為の運動トレーニング、の3つに主眼を置き、最新のMRIを使用した細かな診断を基に治療を実施している。特に、物理療法機器は常に最新のものを設備し、疼痛軽減における重要な役割を担っている。また、リハビリテーションスタッフには作業療法士、理学療法士、柔道整復師、鍼灸師がおり、それぞれの専門性を活かした治療を提供しているが、なかでも関節・筋肉・神経に熟知した技術・知識で手を用いて治療をする「徒手療法」を中心とした手技を用いて、個々の患者に合わせたオーダーメイドな治療をしています。

平成22年4月には、全国50名のうち道内に3名しか在籍していない国際マッケンジー協会認定の

認定資格を理学療法士が取得し、近年腰椎体操として有名になったマッケンジー体操を実施し、昨年4月から150名以上の腰痛患者さんに対して同法を実施し、約80%で効果がみられています。また同院では、作業療法士によるハンドセラピーという手の機能に焦点を当てた治療にも力を注いでおり、手の腱鞘炎(ばね指、ドケルバン病)や手のしびれを生じることとされる手根管症候群の治療、テニス肘など手や上肢の使い過ぎにより生じる疾患の治療でもしられており、その患者は多く来院しています。

年々増加の一途をたどる社会の高齢化は、今や日本も世界の先進諸国並となりました。それに伴い、腰椎症、変形性関節症、骨粗鬆症は、増加しつつあります。一方、都市化の波がおしよせるに伴い、ストレスの増大、運動不足、食生活の洋風化、栄養過多などにより、社会生活に変化が生じ、美容と健康の面から、スポーツに対する関心が急速に高まりつつあります。これらのニーズに応えるべくスタッフ一同が一丸となって患者さんの治療にあたっています。

医院長
池本 吉一

篠路整形外科



医療法人社団

篠路整形外科

診療科目

・整形外科・リハビリテーション科

受付時間 平日 ▶ 午前9:00~12:00 午後1:30~5:30 土曜 ▶ 9:00~12:30 【休診日】日曜・祝日

〒002-8024 北海道札幌市北区篠路4条5丁目3番9号 TEL:011-772-7255 FAX:011-772-7256

URL ▶ <http://www3.ocn.ne.jp/~shinoro> mail ▶ shinoro-orthopedic@aroma.ocn.ne.jp

3R1Z 札幌東ライオンズクラブ 青少年育成費協力広告

● 2011-2012年度 ライオンズクラブ国際会長

ウィンクン・タム 国際会長

(Wing-Kun Tam)

国際会長テーマ

「I BELIEVE～信じる」



● 2011-2012年度 ライオンズクラブ国際協会331-A地区

庵原 宏章 331-A地区ガバナー

(Hiroaki Ihara)

ガバナースローガン

「英知の奉仕と組織の活性化」



キーワード

“時代と共にあるアクティビティ”

1. 育てよう心豊かな若人の力
2. 運営費用の見直しと低廉化
3. 組織内の改革とライオンズ活動の活性化

2,500本の
植樹を
達成!

『10.8ライオンズデー統一アクティビティ』

当別町「道民の森」 植樹アクティビティ実施報告

地区環境保全委員長 L 藤井 則俊

今期ウインクン・タム国際会長は環境保全をテーマの一つに取り上げ、世界中に100万本の植樹実施を目標に掲げております。

国際会長テーマに呼応すべく、331-A地区におきましても会員一人2本、計5,000本の植樹を目標に、地区環境保全委員会にて計画を立案し、『10.8ライオンズデー統一アクティビティ』と位置付け植樹実施を決定致しました。

早速71クラブへ案内をすると並行し、委員会としても植樹場所の調査に取り掛かり札幌市緑の推進課へ照会を行いました。札幌市内での植樹場所はほとんど無いことが判明致しました。

その間、クラブより植樹場所の相談も数件あり、今回の統一アクティビティ目標2,500本のまとまった本数が植樹可能な場所を検討していたところ、当別町道民の森の情報を知り早速当別町にある道民の森管理事務所を訪問致しました。

一人3本、5本の植樹であれば無料で植樹をするシステムがありましたが、目標数2,500本には全く届かず、担当課長と数回に亘る折衝を重ね、道民の森内神居尻地区で広





範囲の地拵えをすることにより達成可能であると判断致しました。

1ヘクタールの草地3,000坪を重機により表面をはぎ、掘り返し、整地し、2,500本の目串を立てる等、現地の下見も十数回におよび準備には相当の労力が必要でありましたが、キャビネット内局員並びに札幌東LCメンバーの手助けもあり10月8日当日を迎えることができました。

一番の心配は天候でした。二番目は駐車場から植樹地迄の山道1.5kmを230人の参加者を送迎する手配でした。三番目は交通安全です。

幸い地元クラブである当別LCのL高橋昌二会長様はじめ会員の皆様に早朝より国道275号線から会場までの各所、駐車場での誘導を行って頂きスムーズに実施することができました。誌面を借りまして当別LCのご協力に深く感謝申し上げます。

当日は23クラブ、230名の多くのメンバーにご参加頂き、遠方より千歳LC、そらちLC、砂川LCのメンバーもご参加されました。また主旨に賛同された三笠LCからは参加は出来ないが、メンバー数×2＝44

本の金銭ドネーションを頂きました。

当日は天候に恵まれ、事故もなく、順調に作業は進み予定の時間内に終了し、L庵原宏章地区ガバナーのお礼の言葉に引き続き、L小野寺眞悟第二副地区ガバナーによる「ライオンズ・ローア」一声が神居尻地区の色づいた山々に大きく響き渡りました。

その後デイキャンプ広場に移り、8クラブ111人により、ジンギスカン、おにぎり、弁当を食べ、思い出に残る充実した秋の植樹アクティビティは無事終了致しました。

このような大規模な植樹アクティビティは地区としても初めての実施であり、下見や打合せを重ねる度に検討事案が出てまいりましたが、会員皆様のチームワークのお陰で成功裏の内に実施することが出来ました。

多くの参加者、支援をして頂いたクラブ、また各クラブへの働きかけを行って頂いたZC各位へ心より御礼申し上げます。

今回の『10・8統一アクティビティ』により2,500本の植樹が達成され、今年度目標数5,000本達成の見込みが立ちました事をここに報告致します。





特集

「アクティビティを考える “献血活動”」

地区委員会レポート

「献血推進セミナー」開催

地区献眼・献血委員長

L 網野 敏

開催日時	2011年 9月12日(月)
開催場所	札幌全日空ホテル
参加人数	59名
対 象	地区内71クラブ 献血推進に 携わるクラブ役員
テ ー マ	輸血は何故必要か？

表題テーマによる講演が終了した後、北海道赤十字血液センターより331-A地区における献血アクティビティの状況の説明がなされた。

特に昨年度成分献血協力で高い実績を上げた札幌ライオンズクラブの事例発表もされて会場出席者の関心を集めていた。

また意見交換会の席上では深川ライオンズクラブ・右狩ライオンズクラブ・札幌スノーフトピライオンズクラブからの

事例発表もあり有意義であった。

「L個人でも出来る献血推進活動」

L個人が家族や知人に献血ルームを紹介して下さい。紹介されて行つて献血をして頂く時には必ず自分のライオンズクラブ名を職員に告げて貰つて下さい。クラブの実績として登録されます。

紹介する為にはパンフレットがあつた方がより効果が上がるでしょう。

クラブ単位でパンフレットの必要部数を当委員会または北海道赤十字血液センターへ申し込みして頂きましたら追つて郵送致します。



講演する池田久實様

北海道赤十字血液センター

名誉所長 池田 久實

日本では輸血用血液の採血と供給は日赤の役割とされています。献血者からいただいた血液は、どのように使われているのか、赤血球製剤と血小板製剤について簡単にご説明します。

輸血に使用される血液のうち、赤血球(図表1)は酸素や炭酸ガスの運び屋で、体の各組織に酸素を配給し、そこで発生した炭酸ガスを、肺に運んで酸素と入れ替えます。赤血球を輸血すると酸素の補給が増強されるため、見違えるほど元気になります。オリンピック競技では競技前

輸血は、なぜ必要か
血液の役割

献血と輸血の必要性



の赤血球輸血はドーピングとして禁止されています。赤血球の有効期限は4日間。凍結すると長持ちするが、大変手間がかかるので特殊な場合を除き、凍結しません。

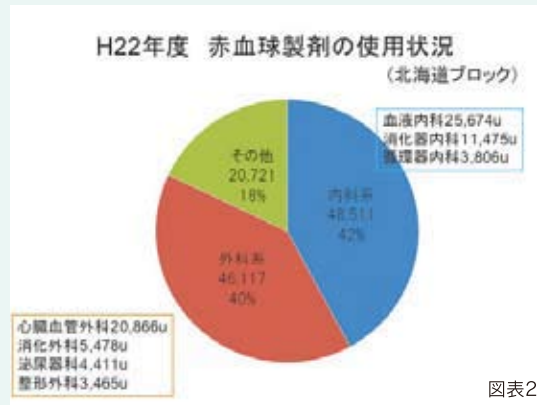


図表1

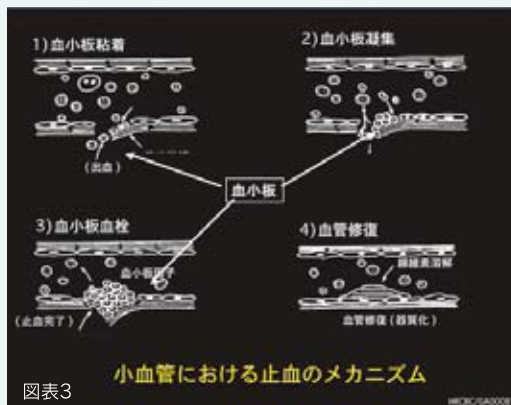
赤血球輸血は、手術などで大量に出血しやすい心臓血管外科や骨髄移植を行う血液内科が多く使います(図表2)。骨髄移植では移植した骨髄がある程度造血できるようになるまで定期的な輸血で補給する必要があります。

血小板も輸血に多用される血液で、止血には不可欠な血液成分です。血管がやぶれて出血している部位に血小板がいち早く寄り集まり、出血部位をふさいでしまう(図表3)。歯茎の出血や、鼻血がやがて止まるのは血小板が働いているからです。

有効期限は4日間。凍結保存はできません。



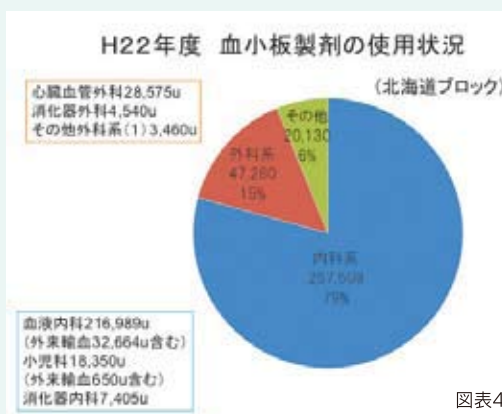
図表2



図表3

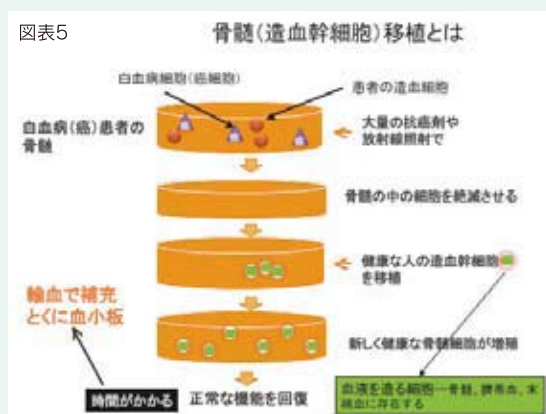
血小板輸血が最も頻繁に行われるのは血液内科です(図表4)。外傷

や手術で出血が多いと考えられる外科よりはるかに大量の血小板が血液内科で使われます。



図表4

その理由は図表5を見て下さい。



たとえば骨髄(血液を作っている部位)のなかに入り込んだ白血病細胞を絶滅させるため抗がん剤治療や放射線照射を行うと、血液を作っている細胞も巻き添えて死んでいきます。再び自前で血液を作りだすまで定期的に血小板や赤血球を輸血で補充します。このとき、血液を作る細胞(骨髄の造血細胞など)を移植してあげれば、より効果的に癌の治療が出来るようになります。この場合でも定期的な輸血が必要。外科の血小板輸血は大量になりがちですが二回で終わりのことが多いのに対し、血液内科の輸血は一定量の血液製剤を一定期間、輸血するため輸血量は多くなります。



特集 アクティビティを考える“献血活動”

日赤の血液事業の主な任務は輸血用血液の安定供給と安全性の確保です。数年まえから北海道も輸血用血液の供給が増え続けています(図表6)。

人口の高齢化が急速にすすんでいること、輸血患者は高齢者(がん年齢)ほど多いことが輸血が増える要因です(図表7)。

図表7

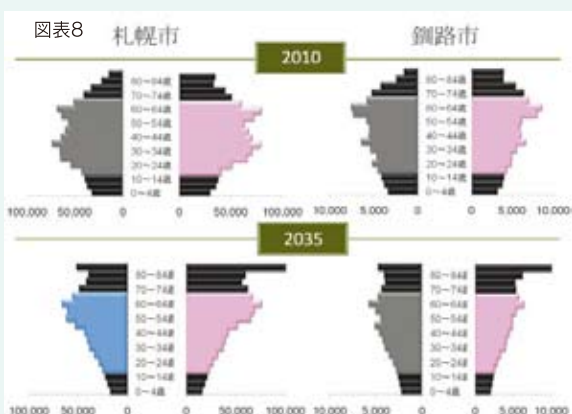
	患者	赤血球	血小板	血漿	計
0~	19	46	430	1	477
10~	9	28	175	45	248
20~	28	152	620	346	1,118
30~	20	105	190	78	373
40~	65	294	759	180	1,233
50~	121	533	1,150	672	2,355
60~	228	1,021	2,380	943	4,344
70~	239	902	980	714	2,600
80~	157	514	290	390	1,204

HSRDC/MR0002

北海道の人口の半分が集中する札幌地区でも、少子高齢化がすすむと予想されます(図表8)。しかし、献血可能年齢層が減るため、献血者を確保することがますます困難になっています。

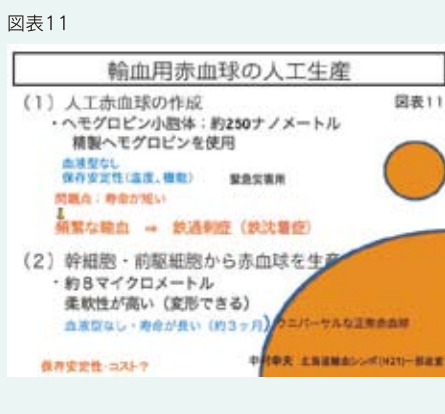
図表9は若い世代ほど献血の経験が少ないという調査結果です。輸血を必要とする年齢層が増え続け、献血可

能年齢層が減り続け、かつ献血から遠ざかるという現象がおきつつあります。



輸血用血液を確保するため、献血

者の約半数をしめる年間二回の献血者に、複数回の献血と登録のお願いを始めています。登録された方の献血協力率は大変よいことが分かっているの



人工の赤血球や造血幹細胞から試験管の中で血液をつくる方法がすでに開発されています(図表11)。解決すべき課題が多いが、将来的にはこれらの方法を実用化し、献血に依存する度合いを減らさなくてはなりません。

データから
331-A地区の
取組状況
(地区PR・ライオンズ情報委員会)

この原稿は、北海道赤十字血液センターから提供されたデータをもとに、PR情報委員会がとりまとめたものです。

はじめに、平成18年度以降の331-A地区全体の献血アクティビティ実績(協力者数をみると(第1表参照)、平成19年度以降、着実に増加している。

自身をみると、より必要性が高いといわれる400mlは増加傾向にあるが、成分献血が伸び悩んでいることが気懸りではある。

次に、どれだけのライオンズクラブ

【第1表】331-A地区献血アクティビティ実績(H18~22年度)

区 分	200mL	400mL	成 分	合 計
平成22年度	781	7,224	950	8,955
平成21年度	1,034	6,341	1,159	8,534
平成20年度	1,046	6,392	1,010	8,448
平成19年度	1,261	6,089	854	8,204
平成18年度	1,942	6,258	230	8,430

(人)

【第2表】

国際協会LC331複合における献血アクティビティ参加割合
(平成22年度)

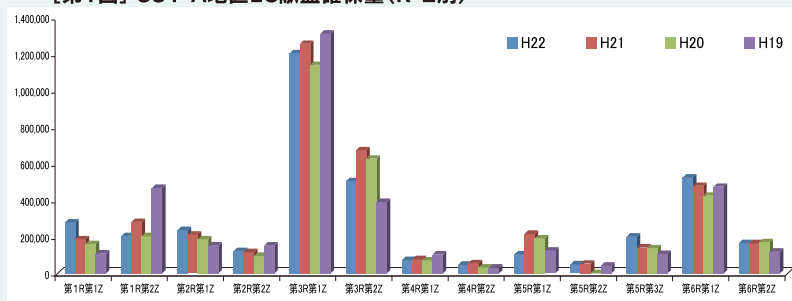
区 分	総クラブ数	献血参加数	参加割合
331-A地区	76	67	88.2%
331-B地区	92	50	54.3%
331-C地区	57	32	56.1%

が献血アクティビティを行っているかをみると(第2表参照)、331-A地区は実に88%のクラブが実施しており、このACCTがライオンズクラブ活動の中心であることが窺われる。特に「雪まつり献血」もあって、22年度の札幌市内のクラブの参加率は100%となっている。札幌市外の参加率は79%である。

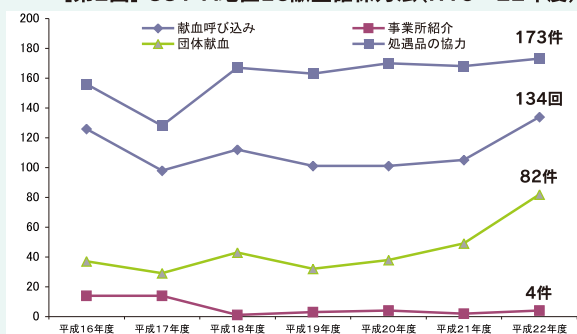
リジョン別にみると(第1図参照)、第3リジョン(特に第1ゾーン)の献血量が極めて多い。

クラブ毎に、献血協力実績をみると(第3表参照)、結構バラツキがあるが、ここでは貢献度が極めて高いクラブとユニークな活動を展開しているクラブを紹介しよう。

【第1図】331-A地区LC献血確保量(R・Z別)



【第2図】331-A地区LC献血確保方法(H16~22年度)



【第3表】平成22年度献血協力実績表

331-A地区ライオンズクラブ(札幌市内)

ライオンズクラブ名	200ml	400ml	成分	合計	献血量 「雪祭り実績」	呼び込み 協力数	事業所 紹介等	団体 献血	個人 献血
札幌	5	18	134	157	67,108	5,308	1	1	93
しらかば	28	72	3	103	39,460	3,860	3	1	5
白石	12	72		84	33,130	1,930	2	2	1
創成	14	206		220	88,578	3,378	4	1	7
シニア	5	45		50	24,790	5,790	2	2	2
コスミックニア	5	43		48	22,543	4,343	2	2	1
赤レンガ					2,895	2,895	1		1
中央		2		2	4,229	3,429	1		1
オーロラ		56		56	29,257	6,857	3		1
フロンティア					4,114	4,114	1		1
清田	41	337	3	381	148,314	4,114	7	4	9
中島					10,286	10,286	1		1
あさひ		1	3	4	8,977	7,377	1		1
エルム	39	170	31	240	93,525	5,325	2	3	2
もいわ		1		1	8,769	8,369	1		1
山深	3	42		45	19,682	2,282	2		2
まるやま		6	7	13	16,612	11,412	1		2
大通		1		1	4,965	4,565	1		1
南	7	120		127	56,247	6,847	4		2
すすきの		3		3	9,321	8,121	1		1
北の杜		55		55	27,414	5,414	2		1
アカシヤ		2		2	7,116	6,316	1		1
クラーク		1		1	10,326	9,926	1		1
時計台	2	18		20	18,138	10,538	2		1
バイオニア		3		3	10,223	9,023	1		1
羊ヶ丘	6	51		57	40,569	18,969	2		2
グリーン		3		3	10,685	9,485	1		1
ノース		2		2	9,231	8,431	1		1
わかば	4	28		32	16,800	4,800	2	1	2
ポプラ	85	279		364	147,106	18,506	9		6
リパティ	48	482		530	215,859	13,459	8		8
スノー	36	1,849	6	1,891	752,095	2,895	12		1
ユートピア		63		63	29,406	4,206	3		1
東	33	141		174	71,412	8,412	3		1
かもがわ					3,365	3,365	1		1
ライラック	1			1	9,453	9,253	1		1
すすらん	28	155	762	945	379,840	7,440	3		13
はまなす	6	24		30	18,240	7,440	2		1
北斗	6	83	1	90	46,704	11,904	3		1
テイネ	10	53		63	27,664	4,464	2		1
西	6	39		45	22,752	5,952	2		3
小計	430	4,526	950	5,906	2,567,200	290,800	103	4	69

331-A地区ライオンズクラブ(札幌市外)

ライオンズクラブ名	200ml	400ml	成分	合計	献血量	呼び込み 協力数	事業所 紹介等	団体 献血	個人 献血
岩見沢		48		48	19,200	1			1
美唄	9	48		57	21,000	1			2
月形		1		1	400				1
岩見沢中央		40		40	16,000				1
岩見沢グリーン		40		40	16,000	1			2
南幌		2		2	800				1
由仁	18	102		120	44,400	3			3
岩見沢メーブル		3		3	1,200				2
滝川		4		4	1,600				1
芦別	31	241		272	102,600	2		2	1
赤平		1		1	400				1
新十津川		3		3	1,200				2
砂川	18	102		120	44,400	3			2
そらち		12		12	4,800				1
滝川グリーン		1		1	400				1
深川	16	132		148	56,000	4		4	
沼田	18	210		228	87,600	3		3	
雨電	12	112		124	47,200				
北電		22		24	9,200				
江別	9	45		54	19,800	1			2
当別		6		6	2,400				2
石狩	154	1,131		1,285	483,200	8		1	2
江別グリーン	9	44		53	19,400	1			1
千歳	7	43		50	18,600	1			2
恵庭	15	59		74	26,600	1			2
千歳中央	41	282		323	121,000	2		1	2
小計	359	2,734		3,093	1,165,400	32		13	33

331-A地区ライオンズクラブ(札幌市内・市外合計)

ライオンズクラブ名	200ml	400ml	成分	合計	献血量	呼び込み 協力数	事業所 紹介等	団体 献血	個人 献血
合 計	789	7,260	950	8,999	3,732,600	135	4	82	218

【第4表】
国際協会LC331
複合における
献血アクティビティ
協力割合

区 分	H21	H22
331-A地区	8,534	8,955
331-B地区	9,962	9,398
331-C地区	7,566	6,517
合計数	26,062	24,870
全道献血人数	287,152	286,890
ライオンズクラブ 協力割合	9.1%	8.7%



特集 アクティビティを考える“献血活動”

22年度の献血量をみると、札幌スノーLC（現在は札幌スノートピアLC）が頭抜けて多い。ついで、石狩LCと札幌スノーLC（平成23年5月解散）となっている。

また種類別にみると、400mlでの貢献では札幌スノーLCと石狩LCが大きく、成分献血では札幌LCと札幌スノーLCが目立っている。札幌LCについては個人献血（ライオンズクラブ所属を名乗って個人献血を行った）人数が93名と多いことが特筆される。札幌LCのユニークな献血活動については同クラブのレポートを参照されたい。

札幌スノーLCの成分献血は、月1回西区山の手北海道赤十字血液センターへの誘導活動を行っていた成果ということです。

これまで紹介してきたライオンズクラブの献血活動の全体のなかでの貢献をみてみよう（第4表参照）。331複合地区での協力割合は全道の8.7%となっている。この数字を高いとみるか低いとみるかは意見の分かれるところであるが、少なくとももっと高める余地があるといえよう。

最後に献血確保方法についてみてみよう（第2図参照）。献血呼びかけ方

式が増加傾向にあり、商店施設のイベント等を利用して呼びかけを行う団体献血も増えているが、事業所紹介件数は低迷している。また多くのクラブが呼びかけ時にティッシュ等処遇品の協力を行っています。

優秀クラブの取組状況 ①「血小板成分献血」 2年目の試み

札幌ライオンズクラブ

献血委員長 L 蛇沼 実



まず初めに、昨年度「血小板成分献血」にご協力を頂いた多くの皆様に感謝を表します。誠にありがとうございました。

札幌ライオンズクラブは昨年、CN55周年を迎えました。そこで記念アクティビティの一つとして前会長L高橋 茂のもと、血小板の安定供給を目的に血小板成分献血の呼び掛けを打ち出しました。

目標人数を年間200名に定め、例年にて、血小板についての勉強会を開催しました。もとより初の試みのため、多くの困難がありました。

- 1、血小板成分献血の年齢基準は、男女共に18歳以上54歳未満（本年より男性のみ69歳までになりました）
- 2、献血バスでの献血は不可能。最寄りの献血センターに自ら行かなければならない。
- 3、血小板の保存期間が4日間と極めて短いので、とくに平日の献血が必要。
- 4、献血に80分程の時間を要する。

など、他にも課題がありました。問題を肌で感じ取り、手段を選びながらのアクティビティとなりました。

クラブメンバーは、自分の家族・社員・取引先の方々・知り合いの方々に対して成分献血の必要性を毎年訴え続けました。

とくに少年野球トーナメント試合「札幌ライオンズクラブ杯」に参加された少年野球13チームの監督様、選手のご父兄様には、多くの理解を得ることが出来ました。

献血の準備として、協力者の皆様に成分献血の注意事項を説明、その上で

「紹介状」を配布。献血をされる時は、献血センター受付に「紹介状」を提出して頂く方法を確立しました。これにより不特定多数の方を対象にする呼掛けではなくまりました。

この「紹介状」をもとに、血液センターと整合性を確かめ合い、例会毎に、人数の推移を報告しました。

貴重な時間を割いて足を運んで頂いた協力者の皆様には後日、クラブメンバーが直接、協力者に敬意を示しました。

とくに難しかった事は、献血者数が落ち込む冬場に多くの協力者を、また昨年9月はアスティー献血ルームが改装工事ため休館、その期間の血小板不足の問題でした。それに対し9月を「献血強化月間」と定め、新札幌献血センターと山の手献血センターに多くの協力者に行って頂きました。

一年を振り返れば、予想を遥かに超える協力と励ましの言葉を頂き、クラブメンバー全員の結束が更に強まりました。

本年度も会長L山根 春雄のもと、昨年同様に血小板成分献血を更に普及させるべく、大切なアクティビティとして取り組むことになりました。

「アクティビティには汗を流せ」と言葉を残した先人Lの教えをそのまま教授し、先輩L、仲間達、全員が一丸となつ

て成分献血を通して社会奉仕に精進しているところがあります。

成分献血1年間で得た経験ではあります、この経験を他クラブの皆様と共有出来ればと思います。貴重な提案、ご質問、ご指導を当札幌ライオンズクラブまで頂ければ嬉しい限りです。

優秀クラブの取組状況

② 深川ライオンズクラブ

献血の取り組み方について

深川ライオンズクラブ

Ｌ 佐藤 裕明

皆さん、こんにちわ！深川ライオンズクラブ2011-2012事業委員長のL佐藤で御座います。

深川ライオンズクラブでは毎期2回、共に2日間の日程で献血推進事業を行っています。

7月からの増永会長新体制の下、さっそく第1回目を去る7月27日～28日の2日間で行い、初日、市長がクラブメンバーでもあり市役所前、2日目、これもメンバーであるところの総合病院前に日赤の献血車をつけてもらいました。

今回は震災後と言うこともあり、

その重要性を再認識し委員会です、PR、声かけに力を入れ、また、効果的に献血者を増やすには、どう活動すれば良いのかを考え来場者を待つではなく効率良く企業を狙おうと、クラブメンバーの事業所に働きかけ最大でメンバーが専務理事を務める金融機関から30名超と言う多大なる協力もいただけ昨年より一人でも多く、1CCでも多くと取り組んで参りました。

内輪ごとでは御座いますが担当委員会の皆さんには、前日はもとより当日も朝早くから献血に訪れていただいた方々にお渡しする深川ライオンズ特製BOXティッシュの準備・配布をお手伝いいただきました。そして、三役一般メンバーの皆さんも多数、会場へ駆けつけてくれ嬉しい限りで御座います。

しかし恥ずかしながら私個人はと申しますと入会以前はこの大きな体で注射が苦手です。率先して献血をする方ではありませんでした。半ば強制的にさせられた献血でしたが、今は欠かさず献血事業に協力しライオンズの精神をほんの少しでも自覚することが

出来て満足しています。

このような活動もライオンズクラブの一員とならなければ、あまり経験できないことです。人間は誰しも持っている、こまっている人を助ける心、ボランティア精神に気付かせていただきこの後も9月には交通安全、10月には知的障害者施設との交流、2月には除雪奉仕などの事業予定が御座います。これからも継続は力となる奉仕活動への参加をさせていただきたいと強く願うところであります。

最後に世界的な組織である奉仕団体のライオンズクラブでもスタートは、私たち二人ひとりへのボランティア意識の向上そして奉仕活動への参加意欲ではないかとある先輩に言われた「40歳を過ぎたらライフワークを持って」と言う言葉に悩みこれからの人生で何をすれば？という考えもしましたがこのライオンズ活動が私のライフワークになるのかもしれないと感じ始めているところで御座います。

以上、言葉足らずでお伝えできましたかどうかわかりませんが報告とさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

御座いました。

約150名、56000CCあまりのご協力、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

(献血推進研修会における発表より)

優秀クラブの取組状況

③ 献血推進委員会

を中心に

石狩ライオンズクラブ

献血委員長 L 松島 磯巳

献血推進研修会で22年度の献血協力実績表が発表された。

331-A地区内で2位、札幌市外では1位の483200mlとなっているが石狩LCの取り組みはどうだったのか、現状はどうか？を意見交換の場で発表させて頂きました。

1981年に12人で2400mlから始まったが毎年17人位の仲間の献血者であった。

10年経て91年、キャビネットの要請に応じて献血推進委員会を設置し、月1回、5人か7人のメンバーが血液センターで成分献血をする「集団成



特集 アクティビティを考える“献血活動”

分献血」をスタート…その後石狩に成分献血車が来る事になった。

会長スローガン「実践を通して示そう社会愛」の基にACTは献血運動を重点にすることを決定し、月1回の実施にPR看板とポスターを作成し各所に掲示し、当日は宣伝車を廻し協力と呼び掛けた、92年地区採血量の累計発表では上位クラブに量的には及ばないが1年で札幌の6クラブに次ぎ64クラブ中7位になっていた。

93年献血推進委員長となったが、クラブ内では月5〜7人の協力が最高・月1回だが個人負担が大きい・高齢になってくる事・どう対処するかが問題になってくると判断し自分だったらどうできるか? なんだつたら出来るか? と考え、

1. 市民への献血思想の宣伝で市民の協力が運動を発展させる、自分の自家用車にPR看板と放送機器を付けて市内を流す

2. 団体との提携を進める、活動が見えなかった自治体の献血推進協議会の運営に参加して市内の企業に協力をお願いする、採血場所確保決定をお願いする

3. 自治体からも献血予算をお願いする

の3点を実行し運動を進めてきた。

市民の協力も大きくなってきた時には献血車が入る箇所には事前チラシを新聞折込みでいれる、センタでも案内ハガキを送付するなど努力してきた総合の力の結集が実績となっていると感じています。

今年度の7月は114人
44,800ml、8月は159人
57,800mlの実績となつていますが、年間64箇所の献血に努力していきます。

皆で出来る「人間に直接与える」社会奉仕だからです!



優秀クラブの取組状況

④命を守る奉仕の原点、

献血推進活動

札幌スノートピライオンズクラブ

会長 L 月居 吉彦

当331-A地区第3リジョン第1ゾーンに所属していた札幌スノールLCと札幌ユートピアLCが今年、2011年7月1日付で合併して新スタートしたのが現在の札幌スノートピライオンズです。この札幌スノートピライオンズの7月以降今期の献血推進活動の実績331-A地区内でトップの成績で推移しているとのことですが、どのような活動によつてそうした実績を堅持しているのか、その一端を紹介し参考に供したいと思います。

まず、献血推進活動は、合併前の旧札幌ユートピアLCでもクラブACTの重点事項として取り組んできましたが、特に旧札幌スノールLCでは1986年3月の結成以来、「いのちを守る奉仕活動」というスローガンをクラブACTの命題として掲げ、その中心的事業のひとつとして献血推進

活動を位置づけ、無理なくコンスタントに継続することを第一義として実践してきました。

クラブ会員数が60数名を超えた最盛期前後には毎月2回以上の献血推進活動を実施したこともありましたが、会員数が30数人を割り込むようになってからは、「無理なくコンスタントに…」という第一義のモットーに基づき、会員二人が年に2回だけ献血推進活動を実践するというローテーションをあらかじめ期首に組み、クラブとして毎月1回確実に手稲山口の運転免許センターに向向き、献血推進活動を行うということを継続してきた結果が、毎年のように、地区年次大会で献血推進活動の最優秀のガバナードを受賞するという実績につながってきたのです。つまり、特別の努力や工夫をして実績を上げてきたわけではなく、「無理なくコンスタントに…」というのがコツ、それが実態です。この伝統が合併・新スタートした札幌スノートピライオンズにも引き継がれ、今期も、いまのところ、地区内でトップの実績をあげている、というわけです。

ちなみに、血液センターによると、地区内のライオンズクラブで手稲山口の

運転免許センターに出向き、献血推進活動を行っているのは、札幌スノートピアLCのみとのことで、できれば回数を増やしてほしいとの要望を受けていますが、合併したとはいえ、30を超える程度の現状の会員数では、その要望に即応し難いというのが実情です。「少子高齢化」に伴い、輸血量の増加が見込まれる一方、献血者数が減少気味にある今日、地区内の各クラブが手稲山口の運転免許センターに出向き、献血推進活動を行うようにすることこそが最良の対応策であると考えますので、ぜひ、各クラブでご検討願えれば幸いです。

千年に一度という大震災に見舞われ、日本の社会のありようが根底的に問い直されている今こそ、ライオンズクラブの奉仕活動のあり方も問い直し、「いのちを守る奉仕活動」をこそ、その基本に据えるべきではないかと思うものです。



活動参加者の感想
さつぽろ雪まつり献血
アクティビティに参加して

札幌東ライオンズクラブ

Ｌ 泉亭 実

札幌市民は雪まつりにはあまり行かないとよく聞きますが、実際、私が本年2月12日に雪まつり会場に足を踏み入れたのも10年ぶり、いや、15年ぶりのことだったでしょうか。

在札クラブによる献血アクトは、例年、さつぽろ雪まつり開催中の大通公園で行われています。私が久方

ぶりに雪まつり会場を訪れたのは、このアクトに参加するためです。

この日の札幌は多少どんよりとはしていたものの雪が舞うことはなく、また、この時期にしては気温も高かったので雪まつり見物には絶好のお天気でした。そのおかげもあつてか、大通公園は多くの見物客で賑わっていて、呼び掛ける相手に困るなんて心配は無用です。

呼び掛ける――そう、献血アクトとしてやるべきことは、この呼び掛けです。一人でも多くの方に献血を行っていただくために、道行く人たちに声掛けを行うわけです。

基本的にはポケットティッシュ――そこには、献血協力のご案内が書かれています――を手渡しながら、お一人お一人に「献血にご協力をお願いいたします！」と声を掛けていきます。

また、マイクを使つての呼び掛けも行います。あらかじめ用意された原稿を読むだけなので簡単ですが、お話の上手な方が多いライオンズの会員にとっては少し物足りないかもしれません。

なんて思っていたら、私の次にマイクを持った、当クラブきつてのエンターテイナーS幹事(当時)は、次々

と軽妙なアドリブを挟んで道行く人の笑いを誘っていました。このように、雪まつり献血の呼び掛けは、少しぐらい派手に賑やかにやってもいいのかなという気がします。その方が私たちも楽しんで参加できますし、なんといつでもここはお祭り会場ですから。

途中何度も観光客から「時計台へ行くには？」などと尋ねられたり、道案内をすると、「そのお礼に」と快く献血をしてくださる方がいたり：当クラブの担当時間は1時間でしたが、あつという間で楽しい1時間でした。

そういえば、せっかく雪まつり会場に行つたのに、全く雪像を見ないで帰ってきてしまいました。これは来年の献血アクトまでのお楽しみということになっておきましょう。





日韓親善青少年交流事業の再開について

地区青少年委員長 L 金子 雅行

2005年以来行われていまして、今年「日韓親善青少年交流事業」が、庵原地区ガバナーの強い思いにより今期に再開することになりました。

本事業は、次世代を担う子供たちに、日本人としての自覚と社会道徳を認識してもらえ、国際交流体験の場を提供することで、明日の社会の礎となる青少年の健全育成に貢献することを目指しています。

小学校高学年生を対象に、ホームステイを中心とした、青少年・地域の方々と直接交流して相互理解や友情、そして信頼を深める内容としたいと思います。

10月11日には、京王プラザホテル札幌にて、この交流事業に関する協定の締結式が執り行われました。

交流先である韓国354-C地区からは朴 石黙総裁はじめ総勢8名、331-A地区からは庵原

地区ガバナー、渡辺第二副地区ガバナーはじめ総勢10名の参加をいただき、締結後に両地区ガバナーの握手、そして拍手喝采の中、無事に終了致しました。

式の後では歓迎の夕食懇親会が開催され親睦と交流を深めました。

この式典については北海道新聞（10月13日朝刊）で報道されました。

事業の詳細につきましては、現在策定中であり、決まり次第皆様にはお知らせいたします。

この交流事業を成功させるため精一杯尽力する所存でございます。また御協力をいただきますようお願いいたします。



締結書を交わし握手する庵原ガバナー（左）と朴ガバナー

札幌と韓国の小学生相互派遣事業で合意ライオンズクラブ

札幌市北區に事務局を置くライオンズクラブ国際協会331-A地区（庵原宏章ガバナー）と、韓国・ソウル市の同354-C地区（朴石黙ガバナー）



バナー）は来春から毎年、両国の小学5、6年生の相互派遣事業を始めることで合意。11日に札幌市内で締結式を行った。

来年3～4月をめどに、日韓それぞれ35人程度を4泊5日の日程で相互派遣する。年内にも道央圏の小学5、6年生を対象に公募する考えだ。締結式で両ガバナーは「日韓両国の青少年がホームステイなどを通じ、末永い友好関係を築いてほしい」とあいさつした。

10月13日(木) 北海道新聞朝刊



リーダーシップセミナー

2011～2012年度 ライオンズクラブ国際331-A地区 リーダーシップセミナー開催

地区指導力育成委員長 L 石黒 諒

9月5日(月)15時30分より、ルネッサンスサッポロホテルで開催致しました。

地区ガバナーL庵原宏章を始め、キャビネット会員の皆様方にご出席を頂き、誠に有難う御座いました。

又、多くのライオンズクラブの皆様方にご参加頂きました事、厚く御礼申し上げます。今回は例年になく参加ライオンが多く、キャビネット役員27名、メンバー124名、計151名の御参加を頂きました。

キャビネット事務局長L藤井則俊の司会で始まり、地区指導力育成委員長挨拶、副委員長L高橋智春がキャビネット役員の紹介をされ、次に地区ガバナーL庵原宏章より御挨拶を頂戴致しました。その後、GLT地区コーディネーターL杉浦勝利による講演が始まり、テーマは「ライオンズクラブの将来」で約1時間でした。講演を頂き、会員増強無くしてクラブは

成り立たない。グッドスタンディングな会長始め、リーダー無くして退会防止、活性化がえられない。これらがクラブの将来を左右することとを、認識を新たにしたいところで。L杉浦勝利有難う御座いました。

休憩後、テーブルディスカッションが始まりテーマはA…会長の心得、B…出席率の良い例会、C…会員増強の協力と退会防止。

各テーブル毎に、キャビネット幹事L木戸善幸、地区PRライオンズ情報委員長L辻岡公夫、ゾーン・チェアパーソンの方々に着いて頂き、リーダーを勤めて頂きました事、心より感謝申し上げます。ディスカッションの結果は各クラブへ発送致します。

18時より懇親会に移り、司会キャビネット筆頭副幹事L清水克也により開宴となり、第一副地区ガバナーL渡辺修によるウイサーブで始まり、第二副地区ガバナー

L小野寺眞悟のライオンズ・ローアとキャビネット筆頭副幹事L清水克也により、和やかな中閉会宣言で19時40分終了と成りました。





2011～2012年度ライオンズクラブ国際331-A地区
第2回キャビネット会議報告

地区PR・ライオンズ情報委員長 L 辻岡 公夫

平成23年10月17日(月)、センチュリーホテルにて第2回キャビネット会議が開催された。

午前10時から「事前会議」に引き続き、午後1時30分より本会議が開催された。

キャビネット事務局長L藤井則俊の司会のもと、地区ガバナーL庵原宏章が挨拶に立ち、次のことを述べた。

①公式訪問の御礼

②重点目標である「会員増強」に関し、9月末現在22名の増加となっているが、引き続き50名の純増を目指して頑張っ

てほしいこと。
③運営費用の低廉化を目指して、キャビネット事務局の家賃・共益費の値下げが実現した

こと。
④10月8日の「植樹」合同アク

⑤10月11日、日韓青少年育成事業の調印式が行われ、重点事業が始動したこと。

⑥IT化は順調に進展していることと、「会員名簿」作成の準備も進んでいること。

この後、キャビネット幹事L木戸善幸より、会議要録にそつて、各レベル・各地区それぞれの動向について報告された。

地区委員会報告に移り、各委員長より、終了事業と今後の事業予定についての報告が行われた。

ついで、審議事項に入り、第58回年次大会の大会要項と委員会・分科会についてと、地区緊急援助資金規定の一部改訂案が承認された。

以上、盛りだくさんの内容であったが、きわめてスムーズに予定時間を30分残して無事終了した。新内閣発足後4ヶ月が経過し、今後の課題がより明確となり、意思統一が十分に図れた会議であった。



お知らせ

5R1Z地区YE委員が交代しました

平成23年10月31日をもって、第5R第1Z地区YE委員のL末永真一(芦別ライオンズクラブ)が、一身上の都合により辞任し、後任として、L池田昇(芦別ライオンズクラブ)が就任致しましたのでお知らせします。

地区特別震災委員会を新設しました

東日本大震災への取組みを強化するため地区特別震災委員会を新設しました。

地区特別震災委員長
山谷 勝義
(札幌ライラックLC)

地区特別震災副委員長
山崎 政義
(札幌ライラックLC)



『第八回薬物乱用防止教育認定講師養成・更新講座』を終えて

『第八回薬物乱用防止教育認定講師養成・更新講座』を終えて

地区薬物乱用防止委員長 L 荒木 順

10月3日13時～17時30分迄「か
でる2・7」8階研修室にて『第八回
薬物乱用防止教育認定講師養成・
更新講座』を開催致しました。

開講にあたり地区ガバナーL庵原
宏章よりご挨拶を頂戴し、引き続き
講義が始まりました。

第1講「薬物乱用と身体への影響」

薬物乱用防止教育認定講師
養成講座講師 医学博士
L万本盛三

第2講「薬物犯罪等の現況」

北海道警察本部刑事部組織
犯罪対策局薬物銃器対策課
事件統括官(警部)
望木勇一郎様

第3講「薬物乱用防止教育の現状」

北海道教育庁学校教育局
健康・体育課学校保健・体育
グループ指導主事
駒井博和様

第4講「北海道における薬物乱用防 止啓発活動」

北海道保健福祉部医療政策局

医療薬務課

医務薬務グループ

主査(麻薬) 吉田隆之様

第5講「ライオンズクラブの薬物乱 用防止教室活動」

薬物乱用防止教育認定講師
札幌リバイタルC
L深川明俊

以上の講義が終わり、財団法人麻
薬・覚せい剤乱用防止センターL阿
部俊三の講評にて、無事全てのカリ
キュラムを終了致しました。

閉講後、地区ガバナーL庵原宏章
より修了証授与があり、第二副地区
ガバナーL小野寺眞悟の挨拶にて閉
会致しました。

今回の受講者93名の内61名の新
規講師が誕生致しました。また、1
年に3回以上の薬物防止教室の講
師を務められた講師に与えられる
ゴールドカードも11名の申請があり
ました。

認定講師の皆様には、小中学校で
の薬物防止教室を出来るだけ多数

開催し、今後の薬物防止啓蒙活動
に取り組んで頂きますようお願い申
し上げます。

なお、当委員会の今後の活動予定は、

1. 薬物乱用防止教室の開催

2. 331-A地区地区内小中学校

575校へ「薬物乱用」ダメ。ゼッ タイ」小冊子配布

3. パネルディスプレイを

2012年3月に開催。

テーマは薬物乱用防止教室講師
体験座談会を予定しております。





夏期YE生派遣

札幌東ライオンズクラブPR委員長 L 小野内 雅子

札幌東ライオンズクラブでは、8月7日から8月26日の期間で、夏期YE生として岩田真見さんをトルコに派遣しました。

8月3日の例会で、真見さん、お母様、妹さんをお招きして、壮行会を開きました。真見さんの爽やかなご挨拶のあと、トルコ旅行経験のある会員から、トルコは美しい人が多いとか、食べ物が出ておいしなどといった紹介がありました。最後は、全員による大きな声のローアで真見さんを激励するなど、楽しい壮行会になりました。

新千歳空港での出発のお見送りには会員5名が参加し、L山本は奥さまと小さな息子さんと一緒に参加でした。8月26日のお出迎えも会員5名が参加しました。

9月21日の例会では、ふたたび真見さんをお呼びして、トルコでの生活について報告をしていただきました。トルコまでの道中で、フライトの大幅な遅れや荷物の未着な

ど、ハプニングもあったようで、少し体調をくずされたようですが、充実した2週間だったことがうかがえ、メンバーもうれしい気持ちになった例会でした。

また、今回の試みとして、ホストクラブに向けての受け入れのお礼や当クラブの紹介などを前田会長が手紙に書き、それをYE生に託し、先方にお渡ししていただきました。これには、ホストクラブも大変感激してくださったようで、真見さんの帰国時には、当クラブに對するたくさんのお土産と一緒に丁寧な感謝状が添えられていました。

このようなこともあり、YE生のみならず、当クラブにとっても実りの多いYE生派遣事業となりました。



トルコに派遣させていただいて学んだこと

東海大学国際文化学部国際コミュニケーション学科1年 岩田 真見

札幌東ライオンズクラブの推薦をいただき夏期Y E派遣生として、トルコに派遣していただきました。出発に際し「トラベル」は「トラブル」とライオンズの方から頂いたお言葉通り、たくさんのトラブルを経験し満腹になって帰って参りました。

トルコへは「名古屋」フランクフルト「ミュンヘン」「イスタンブール」へ乗り継ぎの予定でしたが、フランクフルト「ミュンヘン」行きの乗り継ぎ便が遅れた為、イスタンブールへの乗り継ぎ便に乗れませんでした。待つてくれているホストファミリーの為に少しでも早く到着したいと航空会社と交渉し、何とか10時間遅れの明け方にイスタンブールに着いたものの、今度はスーツケースが紛失してしまいました。最初からたくさんのご迷惑をお掛けしてしまい申し訳ないという気持ちと、それを助けてくれたホストファミリーの皆様へはどれだ

け感謝してもしきれません。トルコでは、丁度ラマザンという日の出から日没まで断食をする時期でした。ホストファミリーの皆様はこれ以上の心配を掛けなくなかったこと、断食をしているご両親に失礼になると思い、飲み物を素直に欲しいと言えなかったことで、脱水症状となりとうとう病院で点滴治療を受けることとなりました。

滞在中は万全の体調でいることが大切であり、無理な我慢をせず素直に申し出る勇気も必要だと思いました。

ラマザン中は、人々は深夜まで外出をし、ティーガーデンでお茶をしながら、トランプゲームをしたり、トルコの歴史や宗教の話に花を咲かせたりして過ごしており、日本とは違う風習を知り、私はどれだけ日本のことを語れるだろうかと考えさせられました。

また、私が滞在したのは、オスマン朝が最初の首都として選んだ緑

がきれいなブルサという街でした。何処へ行ってもモスクやアタキュルクの像などを目にし、古都の魅力ある歴史を物語っていました。

また、トルコのホストクラブの皆様から「東日本大震災」の大惨事に対する温かいお見舞いの言葉を頂き、他国の日本のことを心配してくれたことに、一人の日本人として嬉しく思いました。

私が経験し大変だったことも今となつてはどれも良い思い出に残る貴重な体験となり、困難に立ち向かう勇気を持つことが出来ました。この苦い体験も、そして良かったことも、これから海外へ旅立つY E派遣生の一人でも多くの方々に伝えることが出来たら嬉しいです。このような貴重な体験ができたことに札幌東ライオンズクラブの皆様方に心から感謝致します。

本当にありがとうございます。





地区YE委員会活動を終えてお伝えしたいこと

2010、2011年度地区YE委員長 L Sayyad 理江



1年4ヶ月、「寝ても覚めても、YEの事で頭がいっぱい」が、331-B・C地区YE委員長達との合い言葉でした。

YE事業だけは、331-A・B・Cの3準地区合同で行う331複合地区YE委員会主導の事業です。昨年4月から、前々年度事業である夏期YE事業の準備活動の協力を始まり、前年度事業である夏期派遣生の無事帰国を確認し、今年8月末で任期満了となりやとと退任できました。

振り返ると、前期夏期・冬期・春期・夏期事業の派遣生と受入ホストファミリー募集、派遣と受入オリエンテーション・英会話講師と来日生オリエンテーションとその準備、千歳空港への送迎、サマーキャンプと冬期エクスカーシオンに、331-A地区YE委員会と331複合地区YE委員会の準備と出席、委員会報告、諮問委員会訪問、そして来日生とホストクラブやホストファミリーとの問題解決や通訳、引継オリエンテーション等々：寝ても覚めても切れ目のない業務だらけで、仕事も

かなり犠牲にしながらの活動でした。そういう意味では、時間的にも労力的にもかなり負担が大きい役目でした。

また、今までのYE事業そのものの誤解のために、クラブから協力を得られないことや準地区YE委員長であるが故に、複合地区YE委員長の理解が得られず障壁となつて、問題解決や活動が出来なかったことも多々ありました。けれどもこれらの苦労以上に、この役割を終えた達成感は大変大きなものがありました。

特に、冬期派遣生のスポンサークラブ会長より、冬期ホストファミリー＆クラブと冬期エクスカーシオン、アウルエルシー会(2008年度在札幹事OB会)の協力アクティビティの評価を高くいただき、友好関係を結びたいと申出がありました。このことで、YE事業は「単一クラブのアクティビティ」であることを再認識させられました。YE生とホストファミリーの交流は帰国後も続いている、肝心のクラブ間の交流はほとんどないのが現状でした。そこで、派遣生にはスポンサークラブから

の書簡をホストクラブに持参するよう指導しました。結果、当クラブの派遣生はホストクラブ会長・前会長・クラブ所属の元ガバナークラから丁寧な手紙と沢山のお土産をいただいて帰国しました。

その書簡には、派遣のお礼のみならず、クラブの設立や活動、会員数、所属複合地区と準地区の紹介に加え、YEプログラムの意義、そして派遣国が大地震に遭遇したときに迅速に最初に支援してくれたのは日本のライオンズクラブであったことを忘れないとお礼に加え、今回の東日本大震災時の日本人の行動は世界のお手本であったと高い評価とお見舞いの言葉もいただきました。

このことにより、初めて、派遣生が親善大使の役割をしっかりと果たして、「世界の人々の間に相互理解の精神をつちかい発展させる」という目的を達成させ、これからが本当の世界との交流のスタート台につくことができましたと思います。

一方で、中途帰国した日本の派遣生やお礼も言わない日本の派遣生や保

護者もおりました。

私が15歳のときに米国留学をしたときはもちろんeメールもなければ、国際電話もかけることはありませんでした。ただ、日記だけは手紙にして、両親と心を通わせ、安心して楽しく一年間の学生生活を送ることができました。

最近は益々便利になりすぎた為に、派遣国に短期滞在中もeメールのやり取りを毎日のようにして、過干渉かつ過保護な保護者やYE事業の目的を理解していない保護者もあり、派遣生に依頼心が生じホームシックになつて、せっかくの派遣が活かされないまま帰国するケースもあり残念に思います。保護者と派遣生の心得もより一層指導していかなくてはならないと感じました。

青少年のうちに世界のことを知り、奉仕の精神を養い、社会に貢献できる精神を育むことは、日本社会も良くなることになると思います。殺伐とした現代だからこそ、世界の人とコミュニケーションの取れる人材を育むYE事業の火は絶やしてはならないと願います。そして、前期地区YE副委員長と前期地区YE・ゾーン委員と出会え、一緒にYE事業に深く語り行動し、沢山のことを学び合うことができたことに感謝します。皆様ありがとうございました。

札幌中島ライオンズクラブが メルビン・ジョーンズ・フェロー200%達成

331-A地区の誇り

ライオンズクラブ国際協会331-A地区 LCIF開発地区コーディネーター L 徳川 真智

ここ数ヶ月世界各地では、想像を絶する悲惨な災害が起きております。

一瞬にして人の命、生活を奪い取り将来の夢と希望を喪失する、壊滅的な出来事が多発しております。

日本では、3月11日の、あの東日本大震災、1万数千人という尊い命を奪い、住まいの全てまでも奪い取った自然界の暴挙、その悪夢から半年が経ち、世界全国からの色々な支援により、少しずつ復興への道を歩んでいるところであります。先のライオンズクラブ国際大会での、国際理事会で、東日本大震災支援向けドネーションを、メルビン・ジョーンズ・フェロー。プロGRESS・メルビン・ジョーンズ・フェロー。の表彰対象とする承認期限を、2011年8月31日迄延長する事を決議されました。そのお蔭により、8月末日ぎりぎりに331-A地区と致しまして、札幌オーロラLC・札幌グリーンLC・札幌アカシヤLCに続いて、この度、札幌中島LCが、準地区と致しまして4クラブ目のメルビン・ジョーンズ・フェロー200%を達成されました。

ライオンズクラブ国際協会におかれましては、日本全国初めての快挙を成し遂げられ、輝かしい足跡を残す事が出来ました。

お蔭様でこの崇高な皆様の善意は、今後被災地復興への貴重な根源となり得る事と心から確信しております。

この様に日頃から陰となり日向となつての地道な活動はライオンズクラブ国際協会331-A地区の誇りとして、大いに称賛されるものと思います。

LCIF開発地区コーディネーターとして、心から感謝の気持ちと御礼の念で一杯であります。有難う御座いました。被災者の皆様方には、一日も早い復興を成し遂げられる事をご期待申し上げ、ここに震災前の故郷が甦る事を心からご祈念申し上げ、LCIFからのご報告とさせていただきます。



札幌中島ライオンズクラブ
会長 L小玉 享幸



『ライオン達のアイデアカと行動力(労力)に圧倒されます!』
第37回「夏休み少女川遊び大会」で感じた事。

札幌エルムライオンズクラブ

PR委員長

L室井 孝仁



新会長L近
間敏治のスロー
ガンは、「二歩ず
つ着実な歩みで
明るい明日を目
指しウイサーブ」
です。私たちは、
奉仕の精神を
実践するための
アクティビティ
を、効率的に、又
効果的に、経済
的に、継続的に、
実行して行かねばなりません。未曾
有の大災害となった東日本大震災の
復興には長い年月を要します、支援
の大小に係わらず、息の長い地道な
支援活動が必要です。我々もまた「自
分たちに出来る」ことをしよう、同時
に我々の継続アクトを大事にしてい
こう、着実に長く続けていこう、とい
う気持ちで込められています。

少年少女川遊び大会」を紹介させて
頂きます。7月の新会長就任後、最初
のアクティビティであり、実際に労働す
る奉仕活動を、新旧会員が一緒になっ
て体験する貴重な機会でもあります。
この「川遊び大会」は、クラブの伝
統行事であり、札幌市民の故郷の川
である『豊平川』の自然に親しみな
がら、子供たちが魚とじかにふれ合
い、命の大切さを学ぶ機会となり、さ
らには皆で参加するレクレーションと
して親子、おともだちとの交流を通
じて、心の絆を深める有意義な機会
を提供しているものです。

子供たちの歓声(親御さんの声援
も)と大きな笑顔が、終始会場にあふ
れ、魚釣り大会では、釣り上げた魚の
大きさに子供たちは目を輝かせ、魚つ
かみ大会では全身びしょぬれになりな
がら、真剣なまなざしでお魚を追い
かける姿が印象的でした。参加者全
員、少年少女たちも保護者の方々も、
それぞれビニール袋にニジマスをいっ
ぱいかかえて、あるいは賞状賞品を手
にもって、大喜びをしてくれました。多
くの人たちから、「楽しかった!」「あり
がとう。」の喜びと感謝の言葉をいただ
き、大会の成功を実感した次第です。

今年度の川遊び大会は、昨年度
まで13年間の「豊平川リバーフェス
ティバル」との共催による部門参加か
ら、札幌エルムライオンズクラブの単独
開催へと、エルムの伝統に戻った開催
となりました。単独開催にともない、
各方面への折衝や調整、会場の準備、
大会前日の水遊び場清掃作業など、
ライオン達の知恵と労働奉仕を結集
し、より手作り感の大きな大会となり
ました。近隣の小中学校を訪問しての
ポスター掲示依頼、「札幌開発建設部
札幌河川事務所」との協力依頼や打
合せを始めとして、特筆すべきは大会
前日の公園大清掃作戦でした。



河川敷の公園施設に1年分堆積し
た土砂を、人海戦術で搬出し、水で洗い
流し、雑草を取り除く、全員どろだら
け汗まみれの協同作業です。子供たち
に、「安全で気持ちのよい大会を楽しん
でもらいたい。」そんな気持ちが一休感
をもたらし、これもあれもと知恵とアイ
デアが溢れ出る、肉体的には疲れて
も、楽しい充実感に満ちた作業になり
ました。札幌エルムの会員一人一人が、経
験に基づく知恵を出し、汗を流し、力を
合わせて一つの目標に邁進する、ライ
オンズ精神を体現した結果が、大会の
成功はもとより、
会員同志の結束や
奉仕の喜びを実感
する、貴重な大会
になり得たのだと
考えます。



野幌森林公園植樹アクティビティ

「札幌もいわライオンズクラブ」

PR副委員長 L 池畑 學



我が札幌もいわライオンズクラブは、今年CN43周年を迎えました。この伝統をさらに継続して発展すべく、当クラブ初の女性会長栗原眞由美のもと、「生きる力！希望のみちすじ！今こそウィサー

ブ」をスローガンに、和気あいあいとした明るく楽しいクラブ運営に努めております。

当クラブは、2004年の台風18号で大きな風倒被害を蒙った野幌森林公園国所有林の自然環境回復を目的に2005年に環境保全活動の一環として、0.38haに380本の苗木を植樹しました。以来、その生育を見守り毎年継続して苗木を大きく育てるための下草刈に取り組んでいます。

今年も真夏の8月6日に、いい汗を流すとともに、確実な成長を確認いたしました。国際会長のテーマ、ガバナーの思いに通じる活動として、特に今年は意義をメンバー一同再確認するアクティビティとなりました。

今後は、継続アクティビティとして、知的障がい者との交流の場としての札幌市知的障がい福祉協会との共催による「あらかるあいと展」と「ボウリング大会」を実施

するほか、当クラブ名にある「藻岩山」の展望施設やロープウェイがこの12月に生まれ変わることを受け、アクティビティを計画しております。私たち札幌市民には本当に身近な山ですが、実は、明治25年にハーバード大学サージェント教授が、世界に紹介し、大正10年に北海道で最初の天然記念物に指定された貴重な私たちの自然の財産です。その再整備がこの冬に完成することとは大きな喜びであります。

これからも全メンバーが一丸となって積極的に活動を展開してまいる所存でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。





叡智のきずなで盛り上げよう！

一定山溪ライオンズクラブ

PR委員長 L上野 昌男

安全パレードなど、地域の諸団体協力の下、クラブ会員一丸と成って奉仕活動を行っており、当地域の重要な奉仕団体として皆さんに受け止められております。

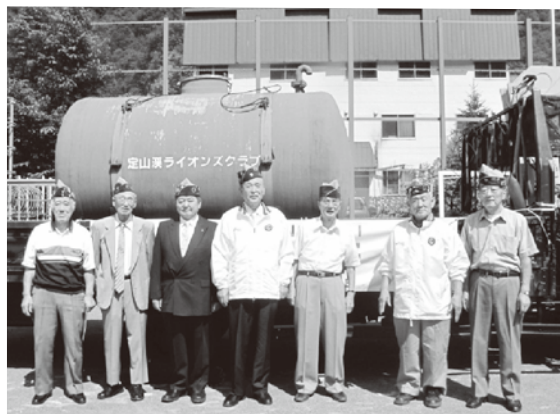
本年度は、三・二の東日本大震災と福島第一原発の事故による風評被害もあって、基幹産業であるホテル・旅館への入込みも激減し、地域経済も大変厳しい状況となっております。この様な悪条件ではありますが、当クラブは会員の一糸乱れぬ行動力と奉仕の精神で、今まで通り地域に根差した活動を行っております。

間もなく十月・十一月と定山溪にとって一番素晴らしい季節となりますが、更にクラブでは、冬に向かってクリスマス家族会、忘年会等の行事が続きます。この様な行事も会員の友和という意味では欠かせないものであり、今後の活動へのエネルギー源と成るものです。また当クラブでは、毎年定山溪神社の草

刈り、公園への植樹など、緑化・美化運動も積極的に取り組んでおります。

多くの観光のお客様が訪れる日本有数の観光地定山溪、また百九十万都市札幌市民の飲み水九十パーセント以上を供給する定山溪、私達定山溪ライオンズクラブは、素晴らしいこの環境を守り、育てていく為に頑張っていく所存です。

一人一人の地域に対する思いをクラブ活動に結集し、更なる地域発展の為に行動し、当クラブ創立の精神を守り、また会員相互の助け合いの心を大切にして、強固で温かい会とする為、私達はこれからも努力を積み重ねて参ります。



CP 34周年記念植樹アクティビティ

札幌まるやまライオンズクラブ

PR委員長 L 塚田 正章

札幌まるやまライオンズクラブでは、第35代会長L中山輝善の会長方針である、「友愛を心に、日本の未来に活力を!!」を常に心がけ、ライオンズ活動が続けています。その活動の一環として、環境保全に着目し、CP 34周年記念アクティビティとして札幌市西区の五天山公園に於いて植樹を行いました。

10月9日(日)快晴、最高気温20度の絶好の天候に恵まれ、中山会長はじめ、19名のライオンが参加して、500本の宮城の萩を植樹しました。不慣れなメンバーを園芸の心得のあるメンバーが指導するといった、チームワークの良さを感じる一場面もあり、和気あいあいのなか、作業を進めていきました。植樹の終了後、「CP 34周年記念植樹ACT」の記念碑の除幕式を行いメンバー全員が、植樹した宮城の萩が数年後、数十年後に大きく育ち、緑豊かな公園の一部となり、少しでもCO2の削減につながることを

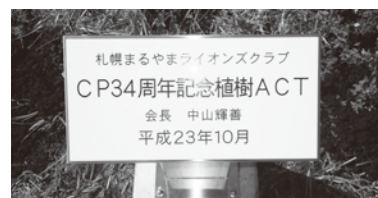
願って記念碑を見つめていました。

その後、札幌市西区土木部維持管理課の梅津係長様より感謝状を賜り、CP 34周年記念アクティビティは終了となりました。

また、第32代会長L長嶋哲の時に植樹した桜の木が当時50cm程度でしたが、現在は2m程度に成長しており、自然の強さ、継続の大切さを改めて感じさせられました。

今後のアクティビティは、11月に例年行っている献血アクティビティ、札幌少年友の会アクティビティ、1月に中山会長が提唱しましたアンダーナイン少年フットサルの支援アクティビティを今期初めて行う予定となっております。

札幌まるやまライオンズクラブは、現在52名のメンバーがおりますが、更に会員増強に力を注ぎ、ライオンズ活動を続けていけるよう、私も微力ながら頑張りたいと思います。



Re FINE SYSTEM

ビル マンション 各種大型施設

大規模修繕・改修を総合プロデュース

1 調査・診断

劣化及び耐久性の低下を早期に発見し、適切に対処するために専任スタッフが専門調査機器を駆使した緻密な調査と的確な診断報告書を作成いたします。



2 改修設計

改修設計は、調査・診断を基に、診断士・設計士・工事担当者によるチーム体制で、建物の状況に最適な改修工事プランを作成。進行表や詳細なお見積書と共にご提出いたします。

3 改修工事

改修工事は当社直営スタッフの責任施工で対応いたします。また構造物、構造補強、防蝕、床の硬度強化など、さまざまなシーンに合わせた先進の工法を開発しております。

社団法人 北海道マンション管理組合連合会 賛助会員
社団法人 高層住宅管理業協会・マンション保全診断センター 登録工事業者
全日本外壁ペンネット工事業協同組合員 他16団体会員

特定建設業・一級建築士事務所
F 福岡工業株式会社

本社／札幌市豊平区西岡2条1丁目1-46
TEL (011) 856-4622 FAX (011) 856-0130
旭川支店／旭川市豊岡2条1丁目7-10高嶋ビル
TEL (0166) 35-0080 FAX (0166) 35-0090

ホームページ <http://www.fukutaka.co.jp>

E-mail f@fukutaka.co.jp

各種造形物、建築装飾物、
擬岩、擬木のことならお電話ください。



株式会社 **アルファ造形**

代表取締役 **新田 廣司**

住 所 札幌市北区新琴似1031-131

T E L 011-765-5306

E-mail alphazok@alpha.ocn.ne.jp

U R L http://www.alphazokei.com

主な製品材質:FRP・GRC・GRG

設計・監理

賃貸・管理



株式会社 **北総研**

URL http://www.h-consulting.co.jp

代表取締役

中山 輝 善

札幌市中央区南11条西7丁目2番7号
TEL 代表(011)513-2334 FAX (011)513-2370

菅の川酒造株式会社

北海道総代理店・手打ちそば工房経営

有限会社 **北の郷**

代表取締役 **赤松 幸一**

〒003-0832 札幌市白石区北郷2条6丁目8-8

TEL・FAX (011) 871-2961



建築構造設計・監理・耐震診断

株式
会社

福本構造設計

代表取締役 **福本 雅之**

〒060-0002

札幌市中央区北2条西2丁目 第2カミヤマビル7F

TEL (011) 221-3303

FAX (011) 232-0003

建築 土木構造物を厳しい自然から守る!!

改修工事全般

オフィス、集合住宅、個建、公共建築物

●仮設工事●下地処理●防水工事●仕上げ(塗装)工事

調査・計画・見積・施工・管理

防水・塗装

●一般塗装工事●防水塗装工事
●屋上防水工事●シーリング防水工事

樹脂工事

●モルタル、タイル回収工事
●厨房床改修工事●防水、防蝕工事

補強工事

●炭素繊維補強工事
●鋼板補強工事

〈工業会加入団体〉北海道コニシシステム工業会、全アロン防水工事業協同組合、
北海道外壁補修改修工事業協同組合、北海道塗膜防水工事業協会、
ロンシール工業会、USB防水工業会、リフリース工業会、北海道サラセーヌ会

コニシ工営株式会社

本社/札幌市北区新琴似5条16丁目5番15号 電話(011)764-3001番(代)

●営業品目
・各種印刷物全般 ・各種データ管理
・web製作 ・CD/DVDデジタル著作物

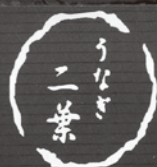
有限会社 明治印刷

札幌市西区発寒16条4丁目941

TEL 011-664-3251

FAX 011-665-5110

2R1Z 札幌まるやまライオンズクラブ



うなぎ二葉本店

地下鉄すすきの駅徒歩7分 駐車場完備

代表取締役 松野 哲也

〒064-0805札幌市中央区南5条西7丁目 電話(011)511-1410

☆定休日・毎週火曜日

☆営業時間・午前11時~午後9時 ☆出前時間・午前11時~午後8時半



2R1Z 札幌大通ライオンズクラブ



沼田町夜高あんどん祭り見物

札幌大通ライオンズクラブ

実行委員長

L有田 勇



8月第二例会の暑中家族会は、L岩波会長より北海道の三大あんどん祭りの一つである沼田夜高あんどん祭りを見物に行くという提案があり、交通手段としてはJRの特別お座敷列車を利用するという事になり、JRに色々と聞きました所30名以上利用参加すると一車両貸し切りになる事がわかりました。参加する登録者は当初L19名L13名と苦勞しましたが、最終的にはビクター5名、家族2名の参加者で29名となり、何とか二車両貸し切りの目標に達し、会員同士より一層

なごやかな対話の場を設ける事になり、親睦を深めることが出来ました。札幌駅鐘の広場に、15時30分迄に全員集合し、L岩波会長が打つ鐘の広場鐘三つで暑中家族会例会が始まりました。

札幌駅を16時6分発の特別お座敷列車で出発し途中L、LL、ビクターからはお酒、焼酎、ビール等沢山の差し入れをいただき、中でもいづもながらのライオンズ会員からは最高級のお刺身をいただき、JRからのお弁当を食べ残す程でした。

あんどん祭りのパンフレットによると、あんどんの製作には地元の保育園児からお年寄りまで約3ヶ月間かけて手作業で行われ、毎年あんどん作りになれているとはいえず、今年も素晴らしい出来栄えのあんどんでした。

もともとは、富山県から伝わったという高さ7m、長さ12m、重さ5tもの巨大なあんどんを『ヨイヤサッ、ヨイヤサッ』の掛け声で、祭りの最大

の見せ場である大型あんどん同志の豪快にぶつかり合う喧嘩あんどんが行われるたびに我々見物人を魅了し、札幌大通ライオンズクラブの『暑中家族会例会JR特別お座敷列車で行く』に参加した人達のボルテージが最高潮に達しました。

約2時間位祭りを見物し、21時57分発の列車で名残惜しみながら後にした帰りの車中では素晴らしかった祭りの余韻を残しながら、残り少なくなったアルコール類、料理等を口にし、JR白石駅で6名下車した以外は、全員無事23時56分札幌駅に到着しました。

今期三役いろいろ苦勞さまでした。



ライオンズクラブ国際協会
331-A地区第2R第1Z

札幌大通ライオンズクラブ

会長スローガン 和(輪)の心で We Serve

会長 L岩波 剛

会計 L島崎 俊廣

幹事 L山田 正幸

PR委員長 L松野 哲也

事務局／〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目1番地 カミヤマビル2F

TEL 011-210-0033 FAX 011-242-3161

E-mail thema@lcs-ohdori.jp URL <http://www.lcs-ohdori.jp/>

2R1Z 札幌大通ライオンズクラブ

交通安全市民総ぐるみ運動への参加で
ライオンズクラブのアクトとPRを推進

札幌南ライオンズクラブ PR委員長 L片山 賢



我がクラブでは、札幌市の中心市街地と定山溪方面から道南各地域を結ぶ幹線道路となっている南区の国道230号線における交通安全の向上と悲惨な死傷事故の撲滅の一助としたとのクラブメンバー共通の願いを、年間数回行なわれる市民総ぐるみ運動への参加という形で定例のアクトにしています。

最近参加した夏と秋の交通安全市民総ぐるみ運動への参加状況についてご紹介いたします。

■夏の交通安全市民総ぐるみ運動
平成23年7月19日(火)

10時30分～11時00分

石山地区：事務局を含め4名が

参加しました。

藤野地区：同日開催で、3名が

参加しました。

この結果、当日はこれら2地区で、計7名の参加となりました。

札幌南警察署・南区交通安全推進委員会・その他関係団体・地域町

内会など、総勢100名程の参加となり、三叉路を中心に分かれて、たすき掛け姿に黄色の交通安全旗を振りながら、ドライバーへの安全運転を呼びかけました。

■秋の交通安全市民総ぐるみ運動
平成23年9月29日(木)

10時00分～11時00分

簾舞地区：事務局を含め6名の参加にあわせ、Lメンバーの会社(中定建設工業さん)から職員20名のゲスト参加を得て、合計26名の参加となりました。

南警察署・南区交通安全推進委員会・地域町内会・その他関係団体など、総勢100名程の参加となりました。

230号線の歩道沿いに並びドライバーへの安全運転を呼びかけました。簾舞地区はゆるやかなアップダウンがあり、定山溪方面の山並みをのぞみ見晴らしは良いのですが、大型トラックが頻繁に行きかう国道沿いにはコンビニが続いていて左右からの車の出入りが多く交通安全の向上が望まれる地区です。

ライオンズクラブ国際協会
331-A地区第2R第1Z

札幌南ライオンズクラブ



2011.7.1 継続ACT「献血呼びかけ運動」実施

会長スローガン 希望に向かってウイ・サーブ

会長 L田中 義一 幹事 L猪熊 輝夫
会計 L石川 孝 PR委員長 L片山 賢

事務局／〒061-2262 札幌市南区簾舞2条1丁目12-7加藤方
TEL(011)596-1838 FAX(011)596-1837



毎年恒例ACTアンデルセン福祉村夏祭り

札幌北の杜ライオンズクラブ

PR情報委員長 L井ノ口 拳志



札幌北の杜ライオンズクラブは2007年3月27日に札幌エルムライオンズクラブのスポンサーにより誕生して間もないクラブですが、CN5周年を迎えるにあたり、新規ACTの実施や会員増強に取り組んでいきたいと考えています。

平成23年7月30日(土)

アンデルセン福祉村で行われた夏祭り、献血の呼びかけ及び焼きそばの販売をしました。昨年はお好み焼きで大盛況でしたが、今年の焼きそばも飛ぶように売れていました。

当日は天気が心配されましたが、みんなのボランティアに対する熱い思いが通じたのでしょうか、大晴天に恵まれました。朝早くから準備をして、炎天下の中焼きそばを焼くのはとても重労働でしたが、おいしそうに食べている姿をみると、疲れも吹き飛びました。献血の呼びかけは、周辺でビラ

を配って多くの方々に採血していただきました。皆様のご協力に感謝いたします。

これからも色々なACTを通じて、社会奉仕に精進したいと思っています。



日本病院会・日本人間ドック学会指定 人間ドック健診施設機能評価認定施設
特定健診・特定保健指導実施機関 協会けんぽ生活習慣病健診実施機関



医療法人社団 明日佳

札幌健診センター

- ☐ 健診日：月曜日～土曜日(日・祝祭日休診)
 - ☐ 婦人科検診実施日：水曜日・金曜日・土曜日(第1・第3土曜日を除く)
- 札幌市中央区南10条西1丁目ホテルライフポート札幌5階

ホームページアドレス www.asuka-gp.or.jp/kenshin/ ご予約・お問合せ TEL:(011)531-2226 FAX:(011)521-3246

7・10月例会、アクティビティ活動報告

一 札幌アカシヤライオンズクラブ

PR・IT情報記録委員長 L 太田 治彦

当クラブは、本年6月にCN50周年を迎えました。今期はL荒谷会長のスローガン「Restart! 未来に向けて」のもと、次の50周年に向けた第一歩をメンバー一同歩み始めました。

アクティビティより

・「水と魚の教室」

実施日：2011年8月21日(日)

視聴力障害保護委員会

委員長 L 向原 邦彦

今年で3年目になる北海道スポーツフィッシング協会主催の「水と魚の教室」に協賛・参加しました。今回も北海道高等盲学校の生徒に参加いただき、魚を釣り上げる感触等を楽しむことができました。

・「慈母観音供養祭」

実施日：2011年9月9日(金)

公衆安全委員会

委員長 L 山田 一夫

継続アクティビティとして、今回も札幌霊堂において34回目を実施致しました。例年通り、交通遺児の会から13名の出席をいただき、生憎の雨模様の中、無事に供養祭を行うことができました。交通遺児の会の事務局長様から、別の形での支援がいただけないかとの申し入れがあり、今後、当クラブとしても前向きに考えていく旨をお伝えしました。



慈母観音供養祭ACT
北海道交通遺児の会の皆さんとお参り

例会・理事会より

・「花火家族会」

開催日：2011年7月29日(金)

例年は7月第2例会を「花火例会」として、札幌パークホテルのビアガーデンにて、メンバーほかご家族の皆様と楽しんでいましたが、今年はガバナール公式訪問に振替えたため、L荒谷会長のご発案で、理事会終了後に「花火家族会」を開催しました。風もなく、おいしいビールを飲みながら、多くの方にご参加いただき、夏の夜のひとときを満喫しました。

・10月第1例会「収穫家族例会」

開催日：2011年10月2日(日)



収穫例会、ジャム作りに挑戦する幹事西濱ライオン

収穫例会実行委員長
L 川谷 厚司

豊平峡温泉に近い「佐々木果樹園」にて「収穫家族例会」を開催しました。当日は強風で雨という天候でしたが、子供たちが釜焼きの「手作りピッツァ」を体験したり、大人たちは「手作りイチゴジャム」の出来映えを競い合ったりしていました。また果樹園の特製山ぶどう酒に特製カレー、そしてジンギスカンを食し、楽しい1日を過ごすことができました。



花火理事会、パークホテルの特設ビアガーデン





肢体不自由者と父母の会交歓の集い

札幌クラークライオンズクラブ

PR委員長 L 鎌田 寿明



初秋の10月2日、札幌クラークライオンズアクティビティとして、毎年行われる肢体不自由者と父母の会交歓の集いが、ジャスマックで11時30分から開催され、子供と父母合せて84名の方々と、当クラブからライオン15名とライオンレディ1名の参加があり、実行委員長のL富本の指示のもと会の進行や内容、役割分担などについて打合せをし、交歓の集いの会に臨みました。

開催にあたって札幌鯨研究会の会長 斎藤 明様他20名とたこ八様5名の協力のもと、富本委員長の挨拶に始まり、お鮨や焼きそばなどを、ライオンとライオンレディの方々に配られアトラクションでは子供たちや父母の方が舞台上に上がり、バルーンパフォーマンスの方に風船や似顔絵などを作ってもらい、子供たちはもとより、父母の方々も童心に返って子供たちの笑顔がとても可愛らしく微笑ましく光景で楽しいひと時を過ごしたと

思います。

会の後半には、札幌肢体不自由者と父母の会 渡辺 あや子様よりジャスマックホテル様、札幌鯨研究会様、たこ八様、当クラブへの感謝状が手渡され会の閉幕となりました。

帰りの際に手渡されたお土産の笑顔が印象的で、私達の心温まる一日でした。



第10回北海道チャレンジドサッカー大会

一 札幌時計台ライオンズクラブ

環境保全・社会福祉委員会 委員長 L 五十嵐 信也



9月11日(日)我ら札幌時計台ライオンズクラブでは環境保全・社会福祉委員会のアクティビティとして(財)北海道サッカー協会・北海道チャレンジドサッカー連盟主催の「第10回 北海道チャレンジドサッカー大会」への奉仕活動を行なった。当日は暑くも無く寒くもない、秋らしい気候の下で全道から開催地である栗山町ふじスポーツ広場に知的障がいの方々のサッカーチームが27チーム、選手たちをはじめ監督・コーチ陣合せて総勢400名もの方々が終結す

る中、主催者であるサッカー協会秋川会長の挨拶にて開会式が始まった。主催者挨拶の中で、われら札幌時計台ライオンズクラブがこの記念すべき第10回大会にて「特別後援団体」としてサッカーボール10球、優勝カップ3ヶ(各カテゴリー)、大会プログラム作成(350部)、選手たちへのスपोर्टドリンク350本の提供等、大きな援助をしていたいた旨の紹介を受け、野澤強会長が全体の前で激励の挨拶をされました。

大会は午前9時よりチャンピオンクラス、フレンドリークラス、ジュニアクラスの3カテゴリーに分かれ夕刻5時近くまで熱戦が繰り広げられました。我々ライオンのメンバーは労力アクトとして学生ボランティアの方々とともに対戦チーム名の表示、得点表示等を行い皆さんのお手伝いをさせていただき、終盤には「エキシビジョンマッチ」としてジュニア選抜チームとの交流試合を行い、1-0

で何とか勝利をいただくことが出来ました。一生懸命にプレーする子供たちを横目にして、日頃から体を動かしていないライオンメンバーは気持ちだけが前に進む為か転んだり、足をひねったりという大変な10分間を経験させていただきました。ジュニア選抜メンバーの皆さん、本当に楽しいひと時をありがとうございました。皆さんも交流ゲームが楽しく感じていただけたなら我々としてもやりが



いのある内容であったと思います。大人気ない私たちに大変なる喜びと感動を与えていただき本当にありがとうございました。とう御座いました。

その後、各カテゴリーごとの表彰式が執り行われ、ジュニアクラスの表彰式では再び野澤強会長が優勝カップのプレゼンターとして場を盛り上げていただきました。

今回のアクティビティでは当クラブより16名のメンバーに集結いただき滞りなく終了することが出来ました。参加メンバーのライオンには改めて感謝申し上げます。我々としては初めての取り組みで迷いもあったと感じます。また、他にもまだまだお手伝いできる部分が見えた事と思います。是非この経験を通じてまた来期のこの大会へ継続的に奉仕させていただければという感を新たに致しました。





札幌時計台ライオンズクラブ

2011～2012 会長スローガン

今こそ前へ 奉仕の道をまっすぐに



2011.8.7 暑中家族会（積丹・岩内）

札幌時計台ライオンズクラブ メンバー

荒木 隆二	有限会社 荒木生花店	京野 信博	京信興業株式会社	諏訪 昇三	株式会社 総合美研
阿部 敏則	株式会社 アベックス	久保 富男	株式会社 サクセス・クリエイト	鈴木名 健	鈴木名建設株式会社
阿部 英二	株式会社 太陽ミラクリーセキュリティ	小林 洋文	医) 展望会	佐藤 伸昭	株式会社 エヌ・オー・ビー
堂畑 時雄	株式会社 雄建	神代 諭一	クーレックス株式会社	杉澤 慎彦	株式会社 フォトフィールド
出羽 吉博	株式会社 日の出治療院	宮本 吉人	宮本吉人事務所	佐藤 雅光	太陽旅行株式会社
藤井 兼蔵	株式会社 フジケン	村川 滋	株式会社 サンフレッシュ	斎藤 達也	有限会社 斎藤印刷
福島 昭雄	有限会社 丸福北進車輛	森 正男	株式会社 森造園土木	佐藤 義孝	有限会社 ジー・オーク
畠山 英樹	ブルデンシャル生命保険㈱札幌支社	三井 辨雄	衆議院議員	竹内 武司	株式会社 札幌メールサービス
晴山 徳貴	株式会社 ニコー	宮崎 幸一	税理士法人エルム会計事務所	田中 康裕	田中康裕司法書士事務所
林下 英二	中西印刷株式会社	三坂 政洋	リゾートライフ株式会社	武井 功	有限会社 いづみ調剤薬局グループ
伊藤 一雄	伊藤一雄税理士事務所	村太 悦郎	株式会社 北海メディカル	浮田 俊也	株式会社 ソーホー
伊藤 隆平	喜久一本店	水橋 初	株式会社 水橋工業	鷺尾 和徳	鷺尾ウッドワーク株式会社
池田 謙一	札幌双葉法律事務所	森 輝彦	有限会社 カネモリ商会	山地 通夫	西札幌木材工業株式会社
今村 尚司	今村尚司税理士事務所	能澤 正明	有限会社 能澤理容美容院	米山 昭	株式会社 東日本計装
五十嵐信也	株式会社 日本旅行北海道小樽支店	中村 登	株式会社 清風堂	山田 清司	栄光通信機株式会社
伊藤芳比呂	有限会社 ワイズビジネス	野澤 強	株式会社 ジェイティエヌ札幌	山田 裕之	株式会社 ミース建築研究所
神力 恒夫	有限会社 神力	中原 猛	中原法律事務所	大和 久男	札幌警備株式会社
茅野 秀雄	大真商事株式会社	大西 侃彦	有限会社 三幸商事	山内 睦夫	山貴服飾株式会社
今野 正明	株式会社 スリーシステム	大笹 進	札幌緑地開発株式会社	吉田 恒	有限会社 オーク企画
近藤 昌克	株式会社 近藤商事	岡本 洋人	社会保険労務士オフィスオカモト		
木村 孝二	株式会社 木村建設工業	杉山 正明	株式会社 杉山燃料センター		

ジャガイモ収穫体験と植樹アクティビティ 〜児童養護施設の子ども達とともに〜

「札幌パイオニアライオンズクラブ」

ACT実行委員長 L 額村 重信



札幌パイオニアライオンズクラブでは、平成23年9月25日(日)、児童養護施設の子ども達とともに、ジャガイモの収穫体験と植樹会を実施しました。

このアクティビティは、「子どもたちの未来のためにウィサーブ!!」という今年会長スローガンの下、恵庭市にある農場に児童養護施設の子

ども達をご招待して、農作物の収穫体験してもらおうという発案からスタートしました。

アクティビティの準備を進めていくなかで、収穫体験と同じ日に、同じ場で植樹ができないかという意見ができました。施設の子ども達にも思いつくになればと思い、農場を所有している近畿大学に申し入れたところ、農場の入り口付近に約150坪の植樹場所を用意していただき、エゾヤマザクラ40本の植樹を実施することとなりました。

9月25日、朝、札幌市内の児童養護施設にライオン5名がマイクロバスで子ども達を迎えに行き、小学生から高校生までの子ども達19名と引率の職員の方3名を乗せて恵庭市にある近畿大学資源再生研究所に向かいました。農場には、L後藤久雄ゾーン・チェアパーソンとL藤井一男地区ゾーン委員もお越し頂いていました。子ども達は、L後藤ゾーン・チェアパーソンから環境保全という

植樹の趣旨の説明を受けた後、各自スコップや苗木を手に取り、みんなで協力しながら40本のエゾヤマザクラの苗木を植樹しました。

植樹が終わると、次はバーベキューで腹ごしらえです。農場でとれたトマトやカボチャ、ジャガイモ等を用意していただき、当クラブからはジンギスカンやホタテ貝、シシヤモなどを用意し、子ども達と一緒にバーベキューを楽しみました。ドラム缶サイズの大きな焼き台を4台用意しましたが、食べ盛りの子ども達の食欲を満たすために、焼き物を担当したライオン達は皆、汗だくになりながら焼いていました。

お腹が一杯になったところで、待ちに待ったジャガイモ掘りです。広い農場の一角を今回のアクティビティのために開放していただきました。ジャガイモ掘りは初めてという子が多かったですが、「自分で掘ったイモは、全部持って帰れるよ」という説明を聞くと目を輝かせ、泥だらけに



なりながらたくさんジャガイモを採りました。

午後2時、送迎バスの出発時間となりました。子ども達は、収穫したジャガイモを大切に持って送迎バスに乗り込みました。子ども達の送迎バスを見送るとき、農場の施設の職員の方が子ども達に、「また今度サクラを見に来てね」と声をかけていたのがとても印象的でした。

最後になりましたが、今回のアクティビティの趣旨に賛同していただき、収穫体験の場所、収穫したジャガイモから子ども達へのお土産の農作物まで全て無償で提供し、植樹にまでご協力下さった近畿大学に心から御礼申し上げます。



子供たちの笑顔と歓声を
第15回札幌羊ヶ丘ライオンズ旗争奪少年軟式野球大会開会式

札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ

PR情報委員長 L井上 定幸



平成23年9月18日、札幌メモリアルグラウンドにおいて第15回札幌羊ヶ丘ライオンズ旗争奪少年軟式野球大会が行われました。

台風の影響で天候に不安がある中、地区ガバナーL庵原宏章をお迎えし参加23チーム600名で開会式を盛大に執り行うことができました。

当クラブのバナー旗を先頭に選手が入場し、クラブ幹事L山崎の開会宣言の後、前年度優勝の伏古わんぱくボーイズから優勝旗・カップの返還がされると、昨年の優勝を労うように大きな拍手が起きました。

今年、優勝旗を手にするチームはどこでしょうか。熱戦の火蓋が切られるのは目前です。

続いて、この大会の運営に多大なご協力をいただいている札幌はまなす少年軟式野球協会の会長であり、当クラブの元会長L上西より、子供たちの元気いっぱいの好プレーに期待しますと激励の挨拶がありました。

名誉大会長であるクラブ会長L照沼、そして地区ガバナーL庵原宏章から来賓挨拶をいただく頃には小雨に見舞われる空模様となりましたが、ガバナーL庵原宏章の凛とした大きな声を整列する少年少女たちは緊張した面持ちで耳を傾けていました。L庵原ガバ

ナーには始球式も担っていただくとともに、最後まで熱心に子供たちのプレーを観戦いただきました。この誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。



当日は北海道盲導犬協会の所長和田孝文様と盲導犬サマー(女の子)にも参加をいただき、クラブが毎年継続して行っております「ミナナの募金箱」に募金致しました。



子供たちが実際に盲導犬を目にし、協会のお話を聞くことによって、盲導犬育成募金への協力と盲導犬普及啓発の一助になればと思います。

最後に、この開会式において札幌はまなす少年軟式野球協会の父兄の皆様から17万枚もの使用済切手、書き損じハガキ、使用済テレカの寄贈をいただきました。厚く御礼申し上げます。

当クラブはお陰様で今期25周年の佳節を迎えます。ライオンズの原点である奉仕の精神を深く自覚し、子供たちの笑顔と歓声が絶えることのない大会をクラブ会員一同一丸となって取組んでまいります。ありがとうございました。

「森の教室」を終えて

「札幌グリーンライオンズクラブ」

青少年委員会 委員長 L岡田 忠恭



今年の青少年委員会担当アクティビティ「森の教室」は天気にも恵まれ、久しぶりにボーイスカウトの参加のもと、札幌市立北九条小学校の児童7名(今年は諏訪神社の子供神輿と重なった為少数であつたのが残念)札幌ボーイスカウト12団団員15名並びに保護者7名、

クラブからは12名の参加で勇払郡厚真町の本田農園の里山を舞台に一日自然を堪能し自然の大切さを体験することが出来ました。

谷川原会長(二日村長)の開村式の挨拶の後、国旗掲揚を済ませると早速森の中に自然を求めて探索に出、本田農場主さんの案内で虫取りに興じたり、焚き火に興奮し、森の教室が始まりました。

農場主の本田さんは北海道新聞でも紹介された方で自然に対する思い入れは人一倍強く水田・農地の経営を始め御自分の山林を手入れされ、自然林の中から間伐した木材を使って小屋を作ったり、冬には炭作りを行い市場に出荷しております。

この行事は今年で8回目となりますが、日常の都会で生活している児童たちにとって普段の生活では経験の出来ないような貴重な一日ではなかったかと思えます。午後12時よりジンギスカンバーベキューに



舌鼓をうち秋刀魚の炭火焼で満腹になった胃を抱えたあとは虫取りや蛙取りに興じ自然を満喫することができました。

以前はこの森の中で1泊の行事でしたので、森の中で高さ20メートルほどのキャンプファイヤーを経験したり、暗い夜の里山で肝試しなどを体験できましたが、諸般の事情でこの3年は日帰りの行事となっております。

来年は関係各位のご協力では非とも一泊の森の教室が出来ることを願っております。



札幌ノースライオンズクラブカップ 小学生アイスホッケー大会

札幌ノースライオンズクラブ

PR委員長

L 中村 麻依子



当クラブでは、青少年育成事業として2008年8月から毎年9月に札幌市豊平区の月寒体育館にて札幌ノースライオンズクラブカップ・小学生アイスホッケー大会の後援を行っております。健全な児童の育成、ならびに、アイスホッケーの普及・振興を図ることを目

的として、毎年札幌のアイスホッケー連盟に加盟する小学生5チームが参加し、白熱した試合が行われています。今年度も平成23年9月2日(土)に第5回目の大会が開催されました。

大会はトーナメント形式となっており、チーム入り乱れて氷上のパックを追う迫力満点の試合が行われました。観客席の親たちからは「シュートだ! 行け!」、「ゴールが決まると「やったー!」と大きな歓声が上がリ、選手たちもその声援にこたえていました。

メインの試合が終わったあとは、毎年恒例の札幌ノースライオンズクラブ役員と参加者の父母で構成された2チームによる長靴アイスホッケー・ゲームが開催されました。長靴アイスホッケーといっても真剣そのもので、札幌ノースライオンズクラブ役員の中にはマイシューズを購入した方もいました。両チームともに歳を忘れ、小学生に

負けなくらいの気迫でぶつかり合い、時には笑いあいの、楽しいゲームとなりました。

スポーツを通じて小学生やその父母と交流を深めることができ、かつ、クラブ役員も心身ともに健康になれる素晴らしいアクティビティでした。



第3回チャリティーゴルフコンペ報告

「札幌わかばライオンズクラブ」

PR委員長

L 中川 知也



平成23年10月18日(火)当別町の『スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部』におきまして『第3回 札幌わかばライオンズクラブ チャリティーコンペ』を開催いたしました。

当日メンバーは朝6時30分に集合し国際アクトチャリティ実行委員長 L 永井・チャリティ副実行委員長 L 青山のもと受付の準備や各自の役割に対する最終確認等が行われた。

この日を迎えるにあたり、メンバー全員が他のライオンズや仕事

の取引先、友人・知人などに声をかけて参加者を募り、33組127名の参加でスウェーデンヒルズゴルフ倶楽部の中・西コースを使用し、ショットガンスタートでにぎやかなイベントの1日となりました。

心配された天気も若干の小雨と肌寒い中でのプレーになりましたが、全員がホールアウトでき、プレー後の表彰式では同ゴルフクラブのレストランを貸切つて成績発表させていただき、男性の優勝者が青木 日出男様、女性の優勝者が塚本 真理子様でした。

また、各種チャリティ企画にて皆様より寄せられたチャリティ金額は「92,166円」となりました、皆様の善意により集まりました今回の募金は来年2月、現在大洪水で深刻な被害を受けているタイ王国アユタヤ県のボスビラビット孤児院に寄付させていただきます。





滝川ライオンズクラブ旗争奪中空知中学校野球大会開催

滝川ライオンズクラブ

青少年育成委員会 委員長 L 小野 淳子



滝川ライオンズクラブでは、アクティビティの一つとして滝川ライオンズクラブ旗争奪中空知中学校野球大会を開催しています。

今年で34回目となる当大会は滝川ライオンズクラブのアクティビティの中でも歴史のあるアクティビティの一つであり、当クラブは昨年に認証50周年を迎えたことも

あり、今年から新しい大会旗を掲げの野球大会開催となりました。

今年は8月20日、21日、27日の三日間で大会が行われました。

中空知管内全11校の球児たちが青空のなか熱戦を繰り広げ、決勝戦は滝川開西中学校対新十津川中学校の対戦となりました。

滝川開西中学校は三連覇をかけての決戦ということもあり、プレッシャーもあったと思いますが、見事はねのけて3対1で滝川開西中学校三連覇で優勝という素晴らしい成績を収めてくれました。

三年生が引退した後の最初の大会ということもあり、まだ幼さの残る球児たちでしたが、炎天下の中必死に白球を追い、ダイナミックなプレーもあり、汗を流しながら一生懸命プレーする姿は本当に頼もしく見えました。

将来プロ野球選手を夢見る子供たちも多いと思いますが、夢で終わることなく、一歩ずつでも前

へ進み、わが手に引き寄せてほしいなと思っています。

当クラブでは野球大会だけでなく、様々な青少年の健全育成を目的としたアクティビティを行っています。

そのアクティビティを通じて、地域社会への奉仕の精神を忘れずに、子供たちが少しでも将来の夢や、優しい心を育むことのお手伝いを続けていきたいと思っています。



50年の歴史を重んじ さらなる 未来へ

一 芦別ライオンズクラブ

芦別ライオンズクラブ
認証50周年記念式典 実行委員長

林 守

去る、九月三〇日に恒例の青少年健全育成資金造成事業「愛と夢あるふれあいの夕べ」を無事終了し、認証50周年記念式典に向けて、その準備を本格的に進めている所です。思えば、この資金造成事業もすでに二十八回を数え半世紀を超えんとする当クラブの歴史の長さを改めて感じる所です。

一九六一年七月三〇日に二四名の会員で結成式を行い、一九六二年六月二十四日に、会員四三名でチャーター・ナイトを迎えた以後今日まで二七二名の会員（在籍者を含め）が歴史を積み重ね、当クラブを育んで来ました。その先輩諸氏の大きな意思を受け継ぎ、新たな50年へ向けて「奉仕」の有り方を改めて検証している途上であります。ただ、昨今の地域の現状は決して樂觀出来るものではなく人口の減少、少子高齢化は他を抜き出しており、地域経済もまた同様に厳しい状況が続いております。

バーの企業も悪戦苦闘しているのが現状であります。その様な中にあっても、否、その様な現状だからこそ地域の光陰となりうる奉仕活動の展開を目指して日々努力して行きたいとの思いを新たにしている所であります。

また、認証50周年を迎えるにあたりその記念アクトをどの様な内容とするかクラブ内で様々な検討を進めて来ました。

当然、3・11の東北大震災への対応も机上に登り熱い論議が幾度と無く行われました。結果、我がクラブは「地元市民の皆様へ育てられて今日がある」との考えを基本に記念アクトは、地元地域への対応を憂慮すべしとの意見に収斂し現在その意に沿う方向で準備が進められています。

式典・祝賀会の準備も基本的には華美にならず、しかし印象に残る式典にしたいとの思いで進めているところです。記念誌も資料集

めに奔走している段階ですがクラブの貴重な歴史的財産と成る物なので、この50年と言う大きな節目にふさわしい記念誌にしたいと思っております。

最後に庵原地区ガバー始め、キャビネットの皆様、そしてブラザークラブの皆様へ、ご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、記念式典への多くのご参加をお願い申し上げます。終わりと致します。



芦別ライオンズクラブ50周年記念アクト
「環境保全植樹」150本 タモの木

芦別ライオンズクラブ50周年記念アクト「ライオンズの森自然観察小屋修復」



着手前



完成後



「北海道幹線用水路」沿線環境整備事業

赤平ライオンズクラブ

PR委員長 L 獅畑輝明



今年度認証50周年を迎える当クラブは、L土井義之会長のもと「地域社会に奉仕を、ウィサーブ」をスローガンに、地域との連携を重視しながら、16名の会員でありますが、クラブの現状に即した新しいACTにチャレンジしております。

2007年から環境保全活動の一環として、5ヵ年計画で北海道遺産「北海道幹線用水路」に沿ったアジサイロードに桜苗木の植樹を行ってまいりました。

桜苗木植栽資金造成カクテルパーティーの益金を活用した事業であり、会員のほかアジサイロードの会、福祉施設フーレビラの利用者、北海道土地改良区や赤平市の職員の皆さんの協力を頂きながら、桜並木の名所づくりを進めております。

当クラブの桜植樹事業は、約30年前から百戸翠光園・エルム高原施設など市内各所で毎年行っており、今年の事業は特に、認証

50年の節目となるものと認識しております。

春には桜の花が、夏にはアジサイの花が咲き乱れる用水路沿線の整備であり、計画の最終年度として、無事植栽を終了しました。

現在は、用水路の改修工事のため移植をしておりますが、来春には、再び綺麗な花を咲かせてくれることでしょう。

今年の新たな取り組みとして、用水路脇の田んぼを利用して6月9日に、地元住吉地区農家の皆さんの指導のもと、豊里小学校5年生の児童による田植え体験授業「田んぼの学校」が行われ、当クラブ会員もお手伝いに参加、秋の収穫を楽しみにしておりますが、去る10月4日、児童たちによる稲刈りが、多くの方々の協力のもと行われ、無事終了しました。これから、地域へ積極的に出向き、各事業を通じて、社会奉仕に努めて行きたいと思っております。

赤平ライオンズクラブ

会長スローガン 地域社会に奉仕を、ウィサーブ

会長 L 土井 義之

幹事 L 植村 正義

会計 L 平瀬 広伸

PR委員長 L 獅畑 輝明 認証50周年実行委員長 L 栗林 貢

記念式典開催予定日: 2012年4月29日(日)

事務局 / 〒079-1155 赤平市昭和町1丁目22番地 TEL & FAX 0125-33-9101

無言実行

江部乙ライオンズクラブ

PR委員長

市ノ渡 武志



本人が愛車に乗り笑顔でポーズ



週1回芝刈 クラブ会員作業風景

江部乙ライオンズクラブは今年で結成46年を迎え、少数精鋭円熟期のクラブです。

40周年アクティビティ記念事業に18ホールパークゴルフ場オープンの為、平成15年より造成したステージは、入場総数4万人のリピーターを迎えました。このゴルフ場管理は何

と言ってもフェアウェイ2cm、ラフ5cmの芝刈技術が要求され、現在乗用タイプ3台、自走刈りタイプ1台で作業を行っています。1台は2cm専用タイプの外国車であり安くて性能が良いとのことで購入したが、まずストレートに動いたことがない。

故障したら部品がなく、製作所でまねた部品を作る始末。取扱説明書はすべて英文でクラブ会員の知合いに英語通の人に頼んだら英会話が出るとのこと。機械の電装関係はありがたいことに電装業の会員が在籍しているので何とか解決しています。

この芝刈り機を操縦する運転手は、購入時より乗りこなしている我

がクラブの山内晴司ライオン。古希も数年前の話でこの御人6年間毎週水曜日前後、毎年オープン5月1日から10月31日まで一度もこの舶来芝刈り機に他の会員に刈込みを頼んだこともなく芝刈りを休んだこともありません。

その訳は本人の職業が職人業で人に任すことが出来ない責任感の強いやや無口なライオンです。またこの芝刈り機は本人の希望で機械屋さんで改良と改造を加えて加えてあり、推定走行運転時間600時間という老骨芝刈り機に誰も運転できないのであります。

このパークゴルフ場3200坪の刈込み、仕上がった時はみごとにエメラルドグリーンの絨毯が出来上がり来客が驚くばかりです。

ご本人は決して健康ではなく、月2回程度は病院に行き健康管理をしています。

会員、来客一同脱帽。この会員こそ無言実行奉仕ライオンであります。



新十津川小学校「田んぼ体験隊」ファーム稲刈り体験

—新十津川ライオンズクラブ—

PR委員長

山田 秀明



今年の春に地元小学生の子供達によって二本一丁寧に植えられた稲の苗が、9月終わりの秋になって見事に黄金色に実りました。

60名あまりの生徒達は、稲がたくさん実っているか期待を膨らませながら元氣よくやってきました。農業高校の学生さん達が先生となり、初めて鎌を使う子供達が怪我をしないように丁寧に指導してから、自分が植えたそれぞれの名札の場所に行き刈取りが始まりました。機械化になり今ではあまりやらない作業を、慣れない手つきで一株一株刈り、四株で一つの束へとゴム輪で束ねていきました。私はその後、用事があり最後までいられませんでした。この稲は稲架にかけられ、後日開かれる収穫祭において、「おいしいご飯」として子供達が頂くと聞いています。

この事業の中で一番心に残ったことは、子供達の中に体の不自由な子がいたのですが、みんなが手を



貸してあげ、全員で同じ体験が出来た事です。新十津川の子供達は皆立派に成長していると感じた瞬間でした。

この田んぼ体験は、「自分で育てたものを自分で食べる」という食文化の基本や、「自分で育てたお米だからこそ残さずおいしく食べる」という食べ物を粗末にしない精神を子供達に教えることができる大変素晴らしいものと実感致しました。子供達にとってもなかなか出来ない良い経験だったと思います。これらの学んだ事を活かしてより大きく羽ばたいて欲しいです。

東日本大震災とアクティビティ

一 滝川中央ライオンズクラブ 滝川中央ライオンズクラブ会長 L 三河 義憲



滝川中央ライオンズクラブは、平成十一年より近隣の中学校を対象に「中学校交流サッカー大会」の支援を行なってきました。当初は、五校〜六校参加の11人制サッカー大会として発足しました。現在は、財団法人北海道サッカー協会主催、滝川中央LC共催、北空知サッカー協会主管の大会として運営され、「北海道ユース(U-14)八人制サッカー大会兼第十二回滝川中央ライオンズカップ八人制サッカー大会」と大きな大会に発展しました。

この大会の主旨は、十一人でサッカーが出来ない少人数チームや勝ち上がるのが少なく、試合経験が少ないチームに対して大きな大会でのプレー機会を保持すること、選手モチベーションやパフォーマンスの向上を図り、また、

サッカーに関わる全ての人々が互いに尊重しあいフェアプレーの精神を育むことを目的としています。

昨年の第十二回大会終了後、次期会長として滝川中央LCの三十周年記念アクティビティを模索していた私(L三河)は、改めてサッカーというスポーツを通じて青少年育成事業にスポットを当てようという思いに至りました。

平成二十三年三月十一日、東日本大震災が発生しました。地震・津波・放射能と東北・北関東の人々は大変な被災を受け苦しんでいます。震災発生後、世界中から被災地へ支援が寄せられました。そんな中サッカーの日本代表DFでインテル・ミラノ(イタリア)に所属する長友祐都選手が世界中に配信されたTV中継の試合の後、「You will never walk alone」(君はひとりじゃない)。そして、日の丸に日本語で「どんなに離れていても心は一つ。一人じゃない。みんながいる!みんな乗り越えよう」とメッセージを東日本大震災の被災者におくっています。物質的な支援もさる事

ながらサッカー少年達に大きな勇気を与えることと成りました。また、国民一人一人に「自分は、この困難に何が出来るか?」という問題を抱かせた事でしよう。

平成二十三年四月上旬、次期クラブ三十周年記念アクティビティを諮問していただく為数人のクラブメンバーにお集まり頂きました。その席上、次期記念アクトとして青少年育成事業のうちライオンズカップサッカー大会に焦点を当てクロージングアップしたい旨を説明しました。いろいろ議論した中でメンバーの一人より「単純に今まで通りのサッカー大会ではなく、三十周年記念事業なんだから被災を受けた中学生を招いて北海道滝川の地で思い切りサッカーをしてもらいたい。東北のサッカーチームを呼ぶための目的が明確な資金造成の集いにしたら良い」との意見が出されました。

次に他のメンバーからは「それじゃ盛岡北ロータリークラブのバスターガバナーの伯父に招待を受けて貰える中学校サッカーチームを探してもらおう」と提案がありました。「資金造成の組織をどう

する?」「向うの学校決まったらご挨拶が必要だね!」「被災を受けた現地のライオンズクラブと共同開催が出来たらいいね」人の知恵、人のつながりにより三十周年記念アクティビティの方向が見えてきた会議となりました。

■平成二十三年八月二十八日〜八月三十一日釜石市立甲子中学校、大槌町立中学校訪問

釜石リアスLC鈴木久会長(アクトの後援依頼)、大槌町教育委員会伊藤正治教育長と談話。

■平成二十三年九月九日

「中学校交流サッカー大会資金造成の集い」
■平成二十三年十月二十二・二十三日
「第十二回滝川中央ライオンズカップ開催」

三十周年記念アクティビティを作り上げて行く間にたくさんの人と交流し絆を結んできました。また、「WESERVE」の精神とモットーがアクティビティを作り上げる原動力となる事を改めて実感させられました。

ご協力頂きました全ての人に御礼と感謝を申し上げます。





第10回砂川LC杯少年サッカー大会が開催されました

— 砂川ライオンズクラブ —

PR情報委員長 L奥山 晃市



平成23年7月30、31日の2日間に亘って、第10回砂川LC杯少年サッカー大会が、砂川石狩川河川敷コースで、全道各地から16チーム269名が参加して開催されました。

会長L外川美秀が「サッカー少年団の皆さん、父母の皆さん、そして大会役員の皆さん、ようこそアメニティータウン砂川市へお出で下さいました。砂川LCは、青少年の健全な心と身体を育てる事業に、力を注いでいます。選手の皆さんは、日ごろ鍛えた力と技を発揮して、怪我の無いように頑張ってください。」と歓迎の挨拶を述べ、来賓の砂川市長L善岡雅文から「第2のなでしこを目指してください。砂川

はお菓子の町です。お土産にお菓子をどうぞお持ち帰りください。」激励と砂川市をPRしていました。試合は、A・B・C・Dのブロックに1ブロック4チーム総当りの予選リーグが行なわれました。

夜は、地域交流センター「ゆう」において、ウエルカムパーティが開かれ、子供達が楽しみにしていた食事会と抽選会がありました。札幌コンサドール有名選手のサイン入りグッズのユニフォーム、バック、ボール、靴、色紙等が、当たるとあって、皆、真剣に読み上げられる番号を聞き入って、当選すると頬を紅潮させ、どの子も「ありがとうござい

ます」と頭を下げ嬉しそうに品物を受け取り、席に戻る礼儀正しさに感心しました。爽やかな気持ちになりました。

2日目は順位決定戦が行なわれました。地元FC砂川が、予選Aブロック二位で通過し、決勝戦まで勝ち進み、昨年の覇者旭川朝日と

善戦したが0-2惜しくも準優勝となりました。大勢の方々が応援に訪れ、声援、悲鳴、拍手と盛り上がりのある決勝戦となりました。

試合中に、ラフプレイ、接触等があると主審が双方の選手を呼んで、「危険なプレーです。相手に謝ることを覚えましょう。」と指導していました。

閉会式では全チームに優勝杯他各賞、個人賞に最優秀賞、優秀賞などが会長L外川美秀から贈られました。最後に第1副会長L長田東助が、ねぎらいの言葉を述べ大会が終了しました。担当の青少年育成YE委員会委員長L高木桂子他会員の皆さんは2日間に亘り、暑い会場に足を運んでいただき、ボールみがき等のお手伝いをして下さいました。

怪我もなく無事終えることができました。

ローカル誌「プレス空知」に熱戦の様子が紹介されました。

成績表

優勝…旭川朝日	9位…増毛
準優勝…FC砂川	10位…旭川北鎮
3位…FCDENOVA	11位…高平
4位…室蘭大沢	12位…富丘
5位…岩見沢JRFC	13位…三笠FC
6位…北郷	14位…美唄
7位…イーストガンバ	15位…新十津川
8位…ふらのFC	16位…栗沢



アクティビティ報告

一 奈井江ライオンズクラブ

PR委員長 L堀 松雄

奈井江ライオンズクラブは、2012年6月砂川ライオンズクラブのスポンサーにより認証50周年を迎えることとなりました。先輩達から培ってきたライオンズ精神を継承し、今年度第51代目会長L北準一のもと「震災復興へ、奉仕の輪を広げよう」をスローガンとし、活動を展開しています。当クラブのアクティビティですが、新入生交通安全帽子贈呈、交通安全街頭啓発、幼稚園・保育園絵本贈呈、福祉施設慰問事業等、先輩達が築き上げた奉仕活動を継承し実行して参りましたが、その中の一部を紹介させて頂きます。

■協働の森づくり

奈井江町は、町有林を2,478ヘクタール所有し、その内伐採跡地250ヘクタールが植林されない状況で、計画的な造林と町民との協働で緑を蘇らせることを目途に8年前から「協働の森づくり事業」が始まり、当クラブも発足した

事業開始当時から植樹アクティビティとして、春秋年2回参加しております。6月11日(土)ライオン6名が、当クラブが活動支援しているグリーン少年団、町議会議員、町職員、町民有志の方々と総勢60名が一緒になって300本を1時間足らずで植栽しさわやかな汗を流し、地球温暖化防止の願いもこめて参加させて頂きました。



■青少年育成事業(活動資金助成)
7月19日(火)第1148回例会において、スポーツ少年団(野球・サッカー・空手)、緑の少年団と4団体に、会長L北準一から育成資金贈呈を行いました。その後各団体の代表の子供たちから元気いっぱいのお礼のあいさつがあり少し緊張していた子供もいましたが、子供たちの笑顔をみているとこれからも継続して活動していく決意をライオン一同新たにしました。



■薬物乱用防止キャンペーン

小・中・高校の児童生徒に対して薬物を使用しないよう、薬物の恐ろしさを啓発する活動を実施しました。10月4日(火)早朝ライオン14名は、各学校の校門で、啓発用のパンフレットとポケットティッシュを「おはよう」の言葉を添えながら配布しました。奈井江商業高校では、学校長とともに啓発活動を実施し、その際の生徒からも礼儀正しい「あいさつ」が交わされさわやかな気持ちになりました。また、小・中学校でも朝から子供たちの元気な「あいさつ」が交わされ、この町から薬物を使用する人が出ないのではないかと、確信した日となりました。





東日本大震災避難者人道支援(岩手県大槌町)

— そらちライオンズクラブ —

PR委員長 L 木村 利幸

3月11日14時46分 東日本を突然襲った大地震そして大津波、更には原発事故。あれから7ヶ月が過ぎましたが、尊い命・財産・仕事が奪われた事は、消すことの出来ない現実です。1日も早い復興をお祈り致します。さて、そらちライオンズクラブでは4月2日福島県福島市へ温かいそばうどん1,400食を炊き出しを致しました。今回は、第2回目として7月17日岩手県大槌町へ美唄焼き鳥1,000本、豚串600本、おでん300食、アイスクリーム300個の炊き出しにて避難者人道支援を行いました。美唄焼き鳥を安価にて、ご提供戴きました美唄ライオンズクラブ藤本ライオン大変有難う御座いました。

7月16日夕刻 砂川市の事務局を出発し、苫小牧港へ八戸港はフェリー7月17日早朝、八戸から岩手県大槌町へ約5時間車両移動し到着は午前10時でしたが、気温はすでに29度オーバーで、炭を熾した時点で全員、汗でTシャツはグショグショでした。(数名は初期熱中症の症状あり！L高塚紀子Dが居たのでチョット安心でしたが)その後、地元の方にお聞きすると気温は35度あったそうです。慣れない手つきで焼き鳥を焼いたり、アイスクリームを作っていると地元の方が、心配そうに覗きこみ「大丈夫ですか？」声を掛けて戴き、人々とのふれあいも感じて来しました。

今年の会長スローガンは「最高の絆！その先の最高の笑顔のために」です。私達は、人道支援を通して、沢山の絆・笑顔を被災された方々に贈ろうと思っただけでしたが、逆に沢山の絆・笑顔を戴いてまいりました。私共は25名の弱小クラブではありますが、迅速な行動力を活かすと



焼き鳥の奥でおでん・アイスを提供。持参した風船は心が和みました。



大槌町のお年寄りが車に近づきステッカーを手で撫でながら「ありがとう」とお礼を戴きました。



活動前に大槌町高台にて黙とうを捧げました。

共に、この経験を糧により一層努力し、身の丈にあった社会奉仕をして行きたいと思っております。最後になりましたが、各クラブ会員の皆様のご活躍とご多幸を祈念申し上げ東日本大震災避難者人道支援の報告と致します。

ライオンズクラブ国際協会
331-A地区第5R第2Z

そらちライオンズクラブ

会長スローガン

「最高の絆！その先の最高の笑顔のために」

会長 L 野田 正彦

顧問 L 村田 収

幹事 L 長田 和彦

会計 L 高林 和正

PR委員長 L 木村 利幸

事務局／砂川市東1条南17丁目1番31号 キムラエンジニアリング株式会社内
TEL 0125-55-2920 FAX 0125-55-2921 Email 331-a.sorachi-lc@kec.ecnet.jp

5R2Z そらちライオンズクラブ

アクティビティ報告

滝川グリーンライオンズクラブ

PR委員長 L 白石 求



9月15日 当クラブの最初のアクティビティ「しらかば会そば打ち体験」を行いました。しらかば会とは滝川保健所管内のパーキンソン病の患者さんの団体で病気の学習・克服や会員同士の親睦交流を目的としており、今回は調理実習でそば打ち体験をしていただきました。幸い当クラブにはそば打ち名人のL山本が

いますので安心して行うことが出来ました。患者さんの中にはかなり身体の不自由な方もいらつしやるのでクラブ員と合同でのそば打ちとなりました。どちらも素人ですが名人の指導のおかげで10時より始めてお昼には太さはまちまちですが美味しい手打そばを食べていただく事が出来大変喜ばれ感謝されました。

もう一つのアクティビティは9月25日に行われた浦臼町そば祭り会場での薬物乱用防止キャンペーンを紹介します。毎年恒例の浦臼そば祭りに合わせて実施し今年で3回目になります。昨年までは麻薬覚せい剤乱用防止センターのキャラバンカーをお願いして来ていただきましたが今年からは北海道と沖縄は除外になり道警のキャラバンカー「まもる君」のお世話になりました。当日は朝からお天気恵まれ大勢の人が来場しました。クラブで用意した1,500個のキズバンとポケットティッシュはお昼過ぎには底をつき

子供用に用意したライオンマーク入りの風船だけになり、それでも孫に頂けますかと高齢者の方に立ち寄っていただきました。また、キャラバンカーには日曜日にも関わらず砂川署の生活安全課の方が制服姿で2名ついて見学の呼び込みをしてくれ多くの人に展示物を観てもらったことが出来ました。我々の呼び込みとは見学者の数がちがう事を実感しました。この場を借りて改めて警察署の方に礼申し上げます。



滝川グリーンライオンズクラブ

会長スローガン ひろげよう友愛の絆

会長 L 南 博雅 会計 L 山 中 ミサオ
幹事 L 出村 省三 PR委員長 L 白石 求

事務局／〒073-0012 滝川市黄金町東1-16-26(有)北英内
TEL 0125-23-3310 FAX 0125-23-0004
E-mail:takikawagreen_lc@amail.plala.or.jp



5R2Z 滝川グリーンライオンズクラブ



深川ライオンズクラブ 創立50周年記念式典

— 深川ライオンズクラブ —

PR委員長 L 明月 健二

10月1日(土)深川ライオンズクラブ創立50周年記念式典がプラザホテル板倉に於いて開催されました。

1961年、滝川ライオンズクラブをスポンサーとして誕生した深川LCは半世紀を迎える事が出来ました。50年という永きに渡り活動を続けてこられたのも、ブラザークラブ、地域の方々、基礎を築き上げた諸先輩のご支援とご協力のおかげであり、大きな節目である50周年の記念式典を開催する事ができ、皆様には心より感謝申し上げます。

当日は、元国際理事 L 杉本忠夫、地区ガバナー L 庵原宏章始め元地区ガバナー・地区名誉顧問、地区役員の皆様、姉妹クラブ東京深川LC・サッポロシニアLCそして多数のブラザークラブの皆様にご出席いただきました。式典では、ご来賓の皆様にご心温まるご祝辞を頂戴し、また深川LC50年の足跡はスクリーンを通して参加頂いた皆様に見ていただき、我々も改めて先輩ライオンの奉仕に対する情

熱を思い知る事ができました。

祝賀会では、深川西高等学校吹奏楽局の皆様が演奏をしていただき好評を得ました。

また、創立50周年記念アクティビティにつきましては、「被災地復興支援」といたしまして2011年3月11日、東日本大震災において甚大な被害を受けた宮城県石巻市の皆様に石巻中央ライオンズクラブを通じ、自転車70台と義援金をお渡ししました。加えて、「障害者支援施設への植樹」として、市内の障害者支援施設「あかとき学園」に植樹の贈呈をし、さらに祝賀会でのオープニングを演奏で飾っていただきました。深川西高等学校吹奏楽局へ活動の助成金をお渡しし、このたびの記念アクティビティの総額2,100,000円ということになりました。

本年度、当クラブにおいて、増永会長の掲げたスローガンの中に「未来のためにウィ・サーブ」とありますが、このたびの50周年を一つの大きな区切り

として、明日から未来に向かって一歩前進して行きたいと思っています。このたびは、深川ライオンズクラブ創立50周年記念式典に多くの皆様にお越しいたいただき、心より御礼を申し上げます。



深川ライオンズクラブ

会長スローガン 「ひと」と「街」の未来のために ウィ・サーブ

会長 L 増永 博志 会計 L 永倉隆太郎
幹事 L 高橋 修司 PR委員長 L 明月 健二

事務局／〒078-2202 深川市北光町2丁目14-4 TEL 0164-22-2220 FAX 0164-22-5330

アクティビティ報告

一 沼田ライオンズクラブ

PR委員長 L上林 文雄



8月4日《献血奉仕》

今期会長スローガン「地域社会に奉仕でウィサーブ」のもと、例年行われているアクティビティに、え、今期の国際会長が力を入れている植樹を、10月6日におこないました。天候にも恵まれ、会員17名が参加し、町営パークゴルフ場にて、50本のつじを植えました。毎年多くの観客でにぎわう「夜高あんどん祭り」も35回を迎え、例年行われている縄巻奉仕、会員のあんどんへの参加と盛り上りました。10月2日の、



8月11日《夜高あんどん縄巻奉仕》

ほとるの里ウォーキングは残念ながら、雨のため中止になり、給水所でお手伝いできませんでした。交通安全に関しては、昨年の6月10日に、死亡無事故4,000日を達成以来更新中です。来期は当



10月6日《沼田パークゴルフ場にて植樹》

クラブの50周年を控えていますので、それに伴うアクティビティを考えていかなければならないわけですが、会員皆様のご協力のもと、日々のアクティビティをこなしていきたいと思っています。

沼田ライオンズクラブ

会長スローガン **地域社会に奉仕でウィサーブ**

会長 L中沢 弘幸

会計 L高橋 節男

幹事 L白井 有一

PR委員長 L上林 文雄

事務局／〒078-2202 雨竜郡沼田町南1条2丁目5-3 北空知信用金庫沼田市店内
TEL 0164-35-2525 FAX 0164-35-2771

5R3Z 沼田ライオンズクラブ



絆を大切に愛のある社会に

一 秩父別ライオンズクラブ

PR委員長 L 大野 敬

今期 第44代会長 L 辻義春のもと、会長スローガン「絆を深め愛と夢を育む奉仕」を掲げ、地域に根ざした奉仕活動とアクティビティに取り組んでおります。

奉仕活動では、特別養護老人ホーム「和敬園」と高齢者が居住するグループハウス「ライフ」での清掃作業を春と夏に行ったほか、クリスマスの時期にはサンタの衣装を



着たクラブ員がプレゼントを訪問し、入所者の慰問を行っております。いずれの活動もお年寄りとの絆を大切にし愛情をもって接していることから、入所者はもとより施設関係者や町民からも高い評価を受けております。

また今年度は、クラブの活動を大々的に町民にアピールすべく、ハッピ、横断幕、のぼり旗等を作成して、地域に根ざしたアクティビティに取り組みました。

主なものとしては、地域が主催する「とんでん祭り」等の各種イベントに4回出店し、イカ、ホタテなどの海鮮焼を販売、新鮮さと味の良さで完売御礼の札が続出するほどの盛況ぶりでした。このイベントは、夏場に集中したことから、クラブ員も炎天と炭火のダブル猛暑で汗だくとなり、汗の力を借りて海鮮焼に程よい塩加減を加えたのが盛況の要因ではないかと疑うクラブ員もおります。



また、例年実施しております交通安全運動では、「春の交通安全キャンペーン」で、新入学児童に通学用のヘルメットを贈り、交通安全指導や街頭監視等を行っております。更に、最近実施した秋の交通安全運動では、商工会女性部・青年部と協賛し「事故なし（梨）キャンペーン」というネーミングで国道



233号線を往来するドライバーに梨、缶コーヒー、ガムなどを配布し、安全運転を呼びかけました。これからも、当クラブは仲間との絆を深め、地域と共に発展するライオンズクラブを目指して各種活動が続けてまいります。

雨竜ライオンズクラブ年間活動内容の紹介

一 雨竜ライオンズクラブ

PR委員長 L 大山口 良二



2011年7月から2012年6月までの雨竜クラブは、志部谷明弘会長の「未来へ繋ごう奉仕の輪」をスローガンの下、1年間様々な奉仕活動等を計画しているところです。主な活動状況を月毎に紹介しますと、7月下旬にはみどり少年団夏季

キャンプに金銭アクティビティを行い、8月の夏休み町子供育成連「うりゆうこども祭り」を支援、9月上旬にいきいき元気村ライオンズ会長杯パークゴルフ大会を開催、この大会は町内外から100名を超える参加者が集い、上位30名に与えられるグランドチャンピオン大会参加資格をかけて熱い戦いが繰り広げられます。9月下旬には事業委員が主体となり雨竜高等養護学校2年生を雨竜町営パークゴルフ場に招待、会長の大会挨拶の後、とどまつコース・ダリアコースに分かれ18ホールのプレーを楽しんでもらい、教員との親睦を深め生徒達もスポーツを通じてながら互いの交流を図っています。12月歳末助け合い金銭アクティビティ、家族合同例会後のクリスマスパーティーでLLとの親睦を図り、冬にはこども育成連開催の冬季レクリエーションの支援を行ない、4月には小学校入学式にて新入学児童に記念品贈呈並びに交通安全啓発を



行ない、雪が解けた5月下旬には雨竜高等養護学校1年生を町内施設の見学に招待し、地域の産業等について学んでもらえる場を提供する事業を行っております。

以上の様な活動をメインに、当ライオン一丸となりこれからも地域への貢献奉仕の心をもって積極的に活動を行って参りたいと思います。



環境保全植樹、交通安全街頭啓発を実施

一北竜ライオンズクラブ一

PR委員長 L 佐野 豊



添え木の打ちつけ

10月6日(木)に、わがクラブは国際会長Lウインクン・タムが提唱した「1年間に100万本の植樹によって地球を緑で覆いましょう。」そして庵原ガバナールの呼びかけによる1人2本の植樹計画に応じて、80本の桜苗木を植樹した。当日は10月第1例会の日でもあり、また、3つのアクティビティを実施しなければならず、早朝7時30分にひまわりの里フットパスコースに



植樹作業

スコップ等を持参して集合した。浅野社会福祉委員長の指示に従い作業は順調に進み、また、造園業のL山下の指導を頂きながら80本の苗木が無事植樹された。北竜ライオンズクラブは過去にも300本以上の桜並木を造成するなどの実績があるだけに、環境緑化には高い関心が



交通安全を呼び掛ける本家会長

あり、作業中も会員からは植樹をした苗木の成長が楽しみなどの会話が弾み、笑顔と満足感の中で終了することができました。

植樹終了後は11時より商工会館前に集合して交通安全街頭啓発を実施した。国道275号線沿いを通過する車両に「ひまわりライス(新米)、お茶、オリジナルティッシュ、交通安全マスコット」を手渡ししてドライバーに交通安全を呼びかけた。今年からは商工会青年部、女性部の協力をお願いしながら黄色い旗を持って歩道に並び、スピードダウンや安全運転を訴えた。



商工会女性部佐々木副部長



ドライバーに手渡しました

M&Aを通して、中小企業の事業承継に貢献します。

 さくらマネジメントグループ

株式会社 さくら総合M&Aセンター

代表取締役 庵原 宏章(地区ガバナー)

〒060-0054

札幌市中央区南4条東3丁目19 イハラビル2F



0120-432-932

さくら M&A

検索

取扱業務のご案内

- 事業承継対策の企画・立案・支援
- 会社譲渡及び譲受の斡旋・仲介
- 事業譲渡及び譲受の斡旋・仲介
- 企業再編、企業再生
- 企業評価業務

* (株)日本M&Aセンター(東証1部)ネットワーク

* 道内各金融機関 M&A業務提携



事務用品・車両関連製品の共同購買
や、ETCカードの取扱い等、組合員様
のお役に立つサービスを展開しています。

道央情報サービス協同組合

代表理事 藤井 則俊

〒060-0054 北海道札幌市中央区南4条東3丁目19イハラビル4F TEL011-242-4006

事務用品・車両関連製品の共同購買や、ETCカードの取扱い
等、組合員様のお役に立つサービスを展開しています。



エス・バイ・エス事業協同組合

代表理事 辻岡 公夫

北海道本部 〒060-0054 北海道札幌市中央区南4条東3丁目19イハラビル5F TEL011-223-1460

東京本部 〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目1番16号第3粕谷ビル7F TEL03-6402-7541

各地支部 茨城支部 新潟支部 中部支部 福岡支部

安全と技術と信頼を追求する

U-23北路株式会社

代表取締役会長 澤谷 弘司

代表取締役社長 町田 孝三

本社/〒002-8081 札幌市北区百合が原6丁目1-6 電話(代)(011)772-8778番 FAX(011)772-8868番

3R1Z 札幌東ライオンズクラブ 青少年育成費協力広告

●●●クラブ報告[札幌創成LC]

札幌創成ライオンズクラブ CN20周年のご挨拶

この度の3.11東日本大震災により被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

札幌は例年より長い夏が過秋の色も深まってきました。当クラブは札幌むいねLCよりエクステンションし無事20周年を向かえることが出来ました。本日は札幌市長様、庵原ガバナーを始めキャビネット役員、ブラザークラブの皆様、関係各位の多くの皆様のご臨席を賜り式典を開催出来ますことは当クラブ員の上ない喜びであります。

当クラブは結成以来地元密着のクラブとして桜の植樹及び献血活動に主眼をおき活動してまいりました。お陰さまで創成川を始め、サイクリングロード等1,000本近い桜を植える事が出来ました。特に創成川沿いの桜並木500本は、毎年開花時期にはモニメントの清掃、ごみ

札幌創成ライオンズクラブ 実行委員長 L 安江 眞

拾い、枯れ枝処理の作業をクラブ員総出で行い成長振りを堪能しております。

記念式典は過去を振り返り、今後の奉仕活動に向かい原点を見直す機会でも有ります。私達は世界で93年以上に渡り奉仕活動に携わる団体の一員として誇りを持って、人生においてもよきメンバーに出会い会員増強を推進し私達の奉仕事業が拡大出来る様に将来に渡り会員相互の絆を深めたいと考えます。

本日皆様の記念品は、仙台市井ヶ田製茶(株)喜久水庵を大震災のアクティビティとしてご用意させて頂きました。改めて大震災に思いを深めて頂きたいと思います。

尚、20周年の記念アクティビティは東日本大震災に対しマスク5万枚金額150万円をキャビネットを通じて岩手県北上市にお届けしました。(有)カラース様自閉症の子供達の

施設に10万円、又、環境保全桜植樹30本(前田森林公園)「道民の森神居尻地区」キャビネット事業200本の植樹を行ないます。

当日は、クラブ員L伊東美枝子のピアノを中心とした演奏会、気象キャスター菅井貴子様の「気候から見た北海道の魅力と可能性」の講演で札幌の気象の変化など大変興味深く拝聴し意義深い一夜を多くのライオンの参加を頂き無事終了させて頂きました。感謝!感謝!です

最後にご参加頂いた皆様のご健勝、ご繁栄を祈念申し上げ、変わらぬご指導ご支援を宜しくお願い申し上げます。有難うございました。



お陰さまで多くのライオンに祝福され
認証50周年が終了

美唄ライオンズクラブ

PR委員長 L 大山 靖子

美唄ライオンズクラブは、1961年9月3日、岩見沢ライオンズクラブのスポンサーにより日本で206番目、331-A地区で9番目に国際協会から認証を受けました。

9月3日、美唄ホテルスエヒロにて認証50周年の式典・祝賀会を、331-A地区ガバナーL庵原宏章をはじめ、キャビネット役員・元地区ガバナー地区名誉顧問のご臨席を頂き第4リジョンの皆様を中心に、また、日頃より友好を頂いている札幌第1・第2・第3リジョン、更に第5リジョンの芦別・深川・沼田ライオンズクラブや第6リジョンの恵庭ライオンズクラブのご協力により、260名を越す出席の中、盛大にかつ厳粛に行うことができました事、クラブ会員一同、心より厚く感謝申し上げます。

の激励の言葉、地区ガバナーL庵原宏章の心温まる祝辞、スポンサークラブの岩見沢ライオンズクラブ会長の心にしみるご挨拶がありました。

元国際理事L杉本忠夫にご出席いただき、MJF100%の表彰盾を授与して下さる予定でしたが、前々日に日本から国際第2副会長を擁立するため、ウィンクン・タム国際会長と急遽会合が入り欠席となりお祝いのメッセージを、前地区ガバナーL山口富雄に代読して頂きました。なお国際会長からの表彰盾は、地区ガバナーL庵原宏章から授与されました。

——認証50周年記念事業——

1. LCIF (東日本大震災指定) 100% MJF 達成 国際会長よりイエローフラッグ受賞

2. 空知神社提灯奉納 (東日本大震災の復興を祈願し。がんばろう日本・心はひとつ美唄ライオンズ

クラブと提灯に託しました。)

3. 絵本寄贈 (美唄市立図書館・子育て支援センター「はみんぐ」・市内幼稚園・保育園13ヶ所)

4. 北海道中央労災病院せき損センター前バス停に椅子付待合所を設置

認証50周年の節目を迎えた今、式典に寄せられた皆様の暖かいご厚情に報いる為にも、メンバーがひとつとなり意識を結集して、友愛と相互理解を深め活力あるクラブ活動・奉仕の輪を広げていく所存でございます。今日までの格段のご協力に感謝申し上げますと共に、今後とも尚一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



開会宣言 会長 L佐藤



認証50周年記念式典・祝賀会会場にて



実行委員長 L安藤 淳 歓迎の挨拶

・・・クラブ報告[芦別LC]

青少年健全育成資金造成事業 芦別ライオンズクラブ認証50周年記念 「愛と夢あるふれあいのタベ」

芦別ライオンズクラブ

特別委員長 L 高砂 晴紀

一九八四年から現在までの二七年间という継続事業で市民のみならずが楽しみにしている集いです。毎年「海の幸」を主とした景品で抽選会を楽しんで頂いていますが今回は認証50周年という節目を市民の皆様と共に祝うべくテレビ3台を特賞として提供させていただきました。

市内から芦別市長をはじめとするご来賓、キャビネットから庵原ガバナリーや近隣のブラザークラブの方々もお越し頂き、当日はあいにくの雨にも係わらず会場には七五〇名以上の市民の皆さんに駆け付けて頂きました。サンマや秋鮭、毛ガニやイカなどの抽選番号が読み上げられるたびに歓声が上がリ時の経つのも忘れるほど大盛況の一日でした。

また、当会場内にてチャリティ募金を行い、その益金を芦別市に贈呈させて頂きました。さらには盲導犬

普及活動の募金も行い場内を盲導犬のサマーとアトムと共に廻って市民の皆さんの貴重な浄財を募金して頂きました。

この事業は会員、一人ひとりが市民の皆様へチケットを販売すること成り立つております。正に地域に密着したライオンズの奉仕活動の原点であると自負しております。



●●●クラブ報告[札幌オーロラLC]

札幌オーロラライオンズクラブ 秋のACT 紅葉狩りフォーラム 2011

札幌オーロラライオンズクラブ
会長 L 杉岡 時治

9月18日(日)に札幌オーロラライオンズクラブ主催の紅葉狩りフォーラムが南区の紅葉公園にて行われました。

2008年に総勢40名ほどでスタートしたこの活動も、第3回を迎えた今年は、活動のサポートをして下さるボーイスカウト札幌第14団の参加も含め、約90名という大変大きなイベントにまで成長いたしました。

『紅葉狩り』と言いつても、今年は残暑の影響のせいか、山々はまだ緑に覆われており秋の気配すら感じられない中での開催となりました(笑)。

しかし、このフォーラムのメインは『知的障害者の釣り大会』となっており、各自が初秋の風を感じながら思い思いのポイントに糸を垂らし、魚との知恵比

べを楽しんでおりました。

ターゲットは川魚の中でもとても神経質で、釣り上げるのはとても難しいと言われているニジマス!! 天候はあいにくの小雨でしたが、施設の方たちも雨がっぱ持参で『我こそが釣り名人!』と言わんばかりに全神経を集中しながら一釣入魂しておりました。

そのかいあってか、今年の釣果は30分で70匹!! 最大のもで32cmのニジマスもありました。

魚が掛かった時の歓声、目の前で逃がしてしまった時の悲鳴、それを見ている人たちの爆笑の声：と、小さな池の周りでさまざまな声飛び交い、とっても賑やかな光景でした。

大会終了後、釣ったばかりの魚を即座に天ぷらにして頂き、この度オプザーバーでご参加を頂きま

したキャビネット会計L田上和子の乾杯のご発声をかわきりに、ジギスカンとともに舌鼓みをうちながら健闘を讃たえあい初秋の楽しいひと時を過ごしました。

最後に、この度お手伝いを頂きましたボーイスカウト札幌第14団の皆様、キャビネット会計のL田上和子、札幌オーロラライオンズクラブのメンバー並びに家族、関係者の皆様に心より感謝の意を表します。



●●●クラブ報告[札幌羊ヶ丘LC]

交通ルール守るあなたが守られる
交通安全呼びかけ

札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ
PR情報委員長 L井上 定幸

10月8日はライオンズ・デーであり、当クラブは恒例のアクティビティとして、毎年、札幌ススキノ交差点に於いて交通安全の呼びかけを行っている。

今年も、札幌はまなす少年軟式野球協会父母会の協力を得て総勢30名を超す陣容で行った。

道内の交通事故死者は10月7日現在130名で昨年より19名減と聞くが、札幌中央警察署・塩入統括官の話では、自転車事故が多発していると言う。ブレーキを着しない競技用自転車で公道を走り、歩行者と接触し重大な事態となる新しいタイプの事故が目立つようだ。

これからの北海道は、日暮れも早まり雪と氷との闘いとなる。冬型の事故も当然増える。交通事故の大半は注意を怠らなければ防ぐことができる。

今回の呼びかけで我々自身が掲げた「交通ルール、守るあなたが守られる」を忘れることなく日々の暮らしに活かしていくことが肝要と考えている。



高齢者の生活を応援いたします、「心かよう、あんしんの日常生活を優先に」



福祉のあいあるグループ

代表 照 沼 司

開設事業所＝グループホーム・小規模多機能・居宅支援事業・福祉移送事業・訪問介護
お問い合わせ ☎ 011-299-8071 (グループ代表・あいある石山事務所内)



東京海上日動火災保険株式会社 代理店
東京海上日動あんしん生命保険株式会社 代理店

山崎総合保険事務所

山 崎 光 彦

〒061-0806 札幌市中央区南6条西14丁目2-25-1001
Tel.011-552-8009 Fax.011-520-6539



有限会社 北海道パッケージング物流

取締役社長 山 崎 光 彦

〒007-0834 札幌市東区北34条東26丁目2番18号
TEL(011)782-2652 FAX(011)782-2653

営業所：苫小牧・旭 川・帯 広・釧 路

25th
ANNIVERSARY

札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ

会長：L照沼 司 幹事：L山崎 光彦

会長スローガン
「25年の歴史に感謝し、新しい未来へ創造の前進」

●会員 (50音順)

L相原 健一 L石橋 慶一 L井上 定幸 L岩本 敏美 L金木 義昭 L桑原 金二 L上西 武紀
L志和 賢一 L菅原 崇 L関 侑子 L高橋 聡 L高柳 司 L竹中 志郎 L千葉 秋彦
L照沼 司 L橋本 泰明 L二村 哲史 L堀岡 咲枝 L山崎 光彦 L山田 稔 L横井 篤子

●家族会員

L石本 朋子 L金木 紀子 L桑原 静恵 L竹中千枝子 L西部 敦子 L橋本 和枝



第15回札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ旗争奪少年軟式野球大会開会式

2R2Z 札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ

2011年～2012年度
第1回 薬物乱用防止教室は茶志内小で

美唄ライオンズクラブ

Y E教育・青少年育成委員長 L 谷口 哲章

9月16日、美唄市立茶志内小学校（白井万寿子校長・児童数25人）の5・6年生対象に、薬物乱用防止教室を行った。7月役員交代時に、各学校に薬物乱用防止教室の開催をお願いして、一番最初の開催を申し出た学校である。会長L佐藤勇治、Y E教育・青少年育成委員長L谷口哲章、会計L鈴木邦角、P R委員長L大山靖子、指導員資格者L山田良雄、L安藤淳、L牧野修一、L鈴木清美の8人が学校に到着。12時50分に5年生3人、6年生4人が席につき、直ちに校長室で会長は懇談。L山田良雄らは、教室で、ポスターを掲示したり、教室備えの映像装置にDVDの接続テストを行った。13時5分、担任の加藤学先生の今日の学習についてとライオンズの紹介があり、Y E教育・青少年育成副委員長L牧野修一の司会で、L佐藤勇治会長の挨拶、白井校長先

生の話のあと、「薬物乱用は、ダメ。絶対」のDVDを視聴。児童はみんな真剣に視聴、今日の講師はゴールドライセンスのL谷口哲章「私はお寺のお坊さんです。今、世界で一番生きの男の人は114歳の日本人男性です」と話し始め、生きる事や、いのちの大切さ、薬物の恐ろしさは、考える源の脳をダメにすること、命をなくする事を事例をもとにして話した。そのあと、美唄警察署生活安全係長が、美唄の薬物使用の事例や薬物を使用すると刑事罰が与えられる、との話があり、薬物乱用防止教室を終えた。なお、児童が次のような感想文を寄せてくれた。

感想、山田千笑莉 薬物の、恐ろしさがよくわかりました。1度でもやったら、元には戻れないということがわかりました。けど、いろいろ種類があつてむづかしかったです。薬物は



とてもキケンだなあと思いました。

感想、谷村優歌 薬物乱用は、とても恐いものなんだなあとおもいました。1回やってしまうと止められ



なくなってしまうので、とてもこわいなあと思いました。

（殆どの児童が恐ろしい、1度やったら止められなくなるのでやらないと書いてくれた。）



●●●クラブ報告[美唄LC]

青少年育成基金造成・ チャリティーパーティー

美唄ライオンズクラブ

PR委員長 L 大山 靖子

去る、8月23日、美唄ホテルスエヒロに於いて、美唄ライオンズクラブ、青少年育成基金・チャリティーパーティーを行いました。

昨年は、この資金を会員のドネーションで賄っていましたが、本年度の役員が、チャリティーパーティーを企画し、青少年育成委員会に計画・立案を二任し、理事会で具体案を提案し承認され、短期間に準備を行い8月23日の実施となりました。

一枚2000円のチャリティーパーティー券、二人20枚を受け持ち販売を始めました。今年の美唄は、8月はイベント(チケット販売)が続ぎ、市民のお財布の紐は厳しいものでした。準備期間が充分に取れなかったり、認証50周年を控えての時期と重なったり、いろいろと混乱もありましたが、600枚以上の券を販売することが出来ました。決定し歩み出すと会員みんなが協力と努力をし

て良い結果を出す事ができる、そんな美唄ライオンズクラブであると実感しております。

チャリティーパーティーは、午後6時から7時30分まで。当日は岩見沢メープルライオンズクラブのチャリティーパーティーと重なりましたが、ご招待した、キャビネット役員の皆様、4R1Z、2Zの各友好クラブから多くのメンバーの皆様にお出で頂き、そして市民の皆様に参加して頂き、二つの会場が約500人で賑いました。特製のおつまみ付でお酒を飲んで頂き、大抽選会で盛り上がり、特賞3本を含め、当たった人は思わぬお土産が出来たと大喜びでした。

美唄ライオンズクラブは、YE事業を大切にし毎年、派遣・受入れを積極的に行っています。更に、YE事業を計画的・活発化するために実施したチャリティーパーティーでした。

今回、多くの市民の皆様のご協力を得る事ができ、なんとか成功に終わりました。これも、日頃のライオンズクラブに対する市民の信頼と支援のお陰と感謝いたします。次年度は早めの計画・準備期間を取り実施出来ればと思います。



ガンバレ東北!! 中学校サッカー大会資金造成の集い

滝川中央ライオンズクラブ

事業資金造成企画推進委員長 L 山田 忠明

滝川中央ライオンズは331-A地区では四十九番目として昭和五十七年六月六日に誕生しました。本年三十周年の歴史を迎えるに当たって記念アクティビティとして、社会福祉協議会を通し日本赤十字社に二百万円の義捐金を送らせて頂きました。さらに本年十二回目を迎えます滝川中央ライオンズクラブ主催の道央ブロックサッカー大会に、三月十一日被災した岩手県より釜石市甲中学校、大槌町の大槌中学校の二校の部員を招待し、少年達がかつて経験した事のない苦しみ、悲しみを乗り越え元気を取り戻し、夢と希望を持つて将来の人生に何らかの力になってくれればと云う想いで開催する事になりました。しかしながら遠い岩手県からの招待にかかわる経費は想像以上にかかります。そこで我が滝川中央ライ

オンズクラブは三十周年記念青少年健全育成事業として、ガンバレ東北!!中学校交流サッカー大会資金造成の集いを題目とし、九月九日(金)三浦華園オーロラ大会場でパーティーを開催いたしました。当日は少し雨が降っていましたが、札幌から自家用車で庵原ガバナリーがかけつけてくださりました。また滝川市長、道議会議員、教育長はじめ第5R第1ZのZC、五クラブの三役にも出席頂きました。会場には約六百五十名の市民が参加しバンド演奏、抽選会と大盛況で幕を閉じました。十月二十二日、二十三日の二日間滝川河川サッカー場で十九チームにより大会が開催され、これを契機に少年達がお互いに交流を深め励ましあつて元気に成長して生き抜いて頂きたいと願っています。



青少年育成の為に 『チャリティービアパーティー』を

江別ライオンズクラブ

市民福祉・緑化・アイヘルス委員会委員長 L 山本 由美子

この事業は昨年度から計画致しましたが、実行できずにおりました。しかし継続を檢討したものであります。時間と内容についてなかなか意見の一致がでずにおりましたが、今年度のメイン事業として取組みをすることになり、メンバー団結のもと、8月26日(金)に、当クラブ『第1回チャリティービアパーティー』を開催することになりました。

当日の会場では、ビール、ジュースが飛ぶように飲み干されました。食べ物、手打ちそば、ソーメン、おでん、焼き鳥、それに江別B級グルメコンテスト準優勝のオニコロ(オニギリ・コロケ)やザンギ、スイングルポテトほか山盛りに置かれた料理の品々は目の前から次々にきえていきましました。

パーティーは午後6時から7時半まででした。「おじさんバンド」がパーティーの趣旨に賛同して、無料で出

演をして下さり、むかし若かった女性達がエレキの演奏に合わせてステージ前で次から次へと踊り始めました。

青少年育成事業の為に、ライオンズクラブメンバーと市民の交流の場を目的として行われたこの事業が、楽しい雰囲気の中で想い出に残るひと時を過ごすことが出来たと思います。

後日に精算の結果、売上金は江別市教育委員会の要望でもあります『四面テント、冬期間使用できるもの』を二張り贈れることになり、片屋根いっぱいに「羽ばたけ青少年」と大きく書き込まれました。

10月13日(木)教育委員会の敷地内にテントを設置し、贈呈式を行いL岸会長から月田教育長に目録が渡されました。「なかなか買えないのですごくうれしい!!」と大変喜んで下さいました。

このテントがどの行事からデビューするのが今は楽しみにしております。皆んなで頑張つてよかったです……
来年度もよりよい手法を探りながら継続することを望むものであります。



・・・クラブ報告[千歳LC]

「第11回キラキラコンサート」で 被災地の吹奏学部にて義援金贈呈

千歳ライオンズクラブ

PR委員長 L 村田 昭夫

8月21日に千歳ライオンズクラブ最大のイベントである「第11回キラキラコンサート」を千歳市民文化センター大ホールで開催いたしました。

千歳市内の北栄小学校スクールバンド、富丘中学校リコーダー部、吹奏楽部、北斗中学校音楽部、千歳中学校吹奏楽部、北陽高校吹奏楽部、千歳高校吹奏楽部の総勢300人強の規模で演奏を繰り広げました。

今年の演奏曲は、クラシックあり演歌メドレーありAKB48メドレーやブルース、スクリーンミュージックなど多彩なプログラムが3部構成で、午後1時開演より約3時間にわたり、熱い演奏が文化センター大ホールに響き渡りました。

このコンサートの司会進行、照明、セッティングなどすべて生徒たちが主体で運営しており、われわれライオンズクラブメンバーは楽器の搬入、搬出、会場の設営、チケットの販売、協

賛広告集めなど裏方で支援しております。

第1部は、富丘中学校リコーダー部の「上を向いて歩こう」、北斗中学校音楽部の「ワシントンポスト」、北栄小学校スクールバンドの歌劇アイダより「凱旋の行進曲」、北陽高校吹奏楽部のAKB48メドレーなど。

第2部は富丘中学校吹奏楽部の「マル・マル・モリ・モリ」から千歳高校吹奏楽部の「演歌メドレー」「会いたかった」などで、特に千歳高校のダンスパフォーマンスには大爆笑で盛り上がりしました。

第3部は出演団体の合同演奏で全出演者、総勢300人強による「ラデッキー行進曲」で最後を締めくくりました。

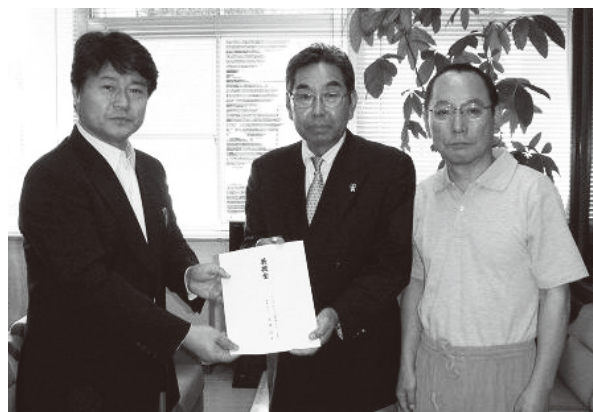
当日は父兄、友人、一般市民など開演前から行列ができ、立ち見がでるほど、来場者は1000人程になり大変な賑わいでした。

また、来賓として千歳市長 山口幸太郎様はじめ教育長、道議会議員、ライオンズクラブ331-A地区第一副地区ガバナーL渡辺修など大勢のご臨席をいただきました。

さらに当日、当クラブ会長の発案で「第11回キラキラコンサート」のロゴ入りリストバンドを制作し、参加メンバーと来場者に記念として配布いたしました。

そして、東日本大震災の義援金募金もあわせて実施し、332-B地区 高橋晴彦ガバナーと大槌LC会長L大萱生を通して、岩手県立大槌高等学校吹奏楽部に楽器修繕費及び活動費として寄贈いたしました。

来年は認証50周年でもあり、また新たな気持ちで、取り組んで参りたいと思います。



信頼と創意で お客さまのニーズに お応えします！

当グループは「税理士法人 さくら総合会計」を母体として、
税務・会計業務を中心に据え、お客さまの事業経営全般に関する
多方面にわたるサービスをワンストップでご提供しております。

グループ各社が連携することによって生まれる
各専門分野の情報の豊富さと、
それを生かす機動力、対応力が私たちの強みです。

税理士法人 さくら総合会計

各種税務相談、決算、税務申告、税務調査立会、経営計画立案作成、公益・社会福祉法人
に対する監査・経営指導、地方自治体に対する公会計導入支援コンサルティング・監査

代表社員 庵原 宏章（地区ガバナー）

代表社員 沼田 吉次郎

代表社員 西久保 勝郎（新潟事務所所長）

〒060-0054 札幌市中央区南4条東4丁目2番地1 さくら総合会計ビル
総合受付 TEL (011) 271-1417 / FAX (011) 221-5948

グループ会社・取扱業務 ご案内

税理士法人さくら総合会計／株式会社さくら総合M&Aセンター／労働保険事務組合道央労務管理協会／
庵原宏章行政書士事務所／株式会社パワーコンサル／有限会社札幌ビジネスエージェンツ／株式会社エス
エムシー／道央情報サービス協同組合／エス・バイ・エス事業協同組合

税務会計支援（個人・法人・医療法人・公益法人・社会福祉法人）／労務顧問・労務行政／事務組合運営／M
& A関連／生命・損害保険代理店業務／各種代行／登記関連／OAシステム／共同購買・ETC関連／他

3R1Z 札幌東ライオンズクラブ 青少年育成費協力広告



東日本大震災 被災者支援活動報告

この指止〜まれっ!!

トンボ隊

札幌東ライオンズクラブ

Ｌ 佐々木 博一

2011年9月18日(日)、追分の畑で、道内に避難されている東日本大震災被災者と収穫祭を楽しみました。18名の避難者、17名のライオン、8名のノンライオンが参加。

この支援活動は、7月17・18日に行われました前期地区YE委員会(当クラブ所属Lサイヤッド理江前期地区YE委員長)主宰の「東日本大震災による北海道への避難者青少年激励会」に始まりました。この激励会に私も飛び入り参加しました。(詳細は、エコー誌8月号・ライオン誌9月号を「読下さい。)

3・11から数ヶ月が過ぎた今だからこそ、避難者の「心の支援」を継続していくことが、トラウマ(心的外傷)から一日でも早く回復し、PTSD(外傷後ストレス障害)とならないようにするために大切と考え、この指止〜まれっ!で止まってく

れる有志のトンボと一緒に活動をすることとしました。

今回第1回目は、私が個人的に7年前の立ち上げから毎週末4月から11月にボランティアを続けてきた、心を耕したい全国の引きこもりとニートの青年が集まり無農薬野菜を作っている畑に皆さんをお招きして、北海道の収穫を楽しんでいた大きながら、心が元気になってほしいと思いつきました。

あいにくの雨模様とはなりましたが、それでも、とうきびやトマトをはじめともぎとりその場でかじって甘い北海道の恵みを味わったり、さらには大根を抜いて尻もちをつきそうになったり、それぞれが北海道の土に触れ、安全な食の恵みに感謝し、ほころんだ笑顔を見ることができ、うれしく思いました。また飼育し



ている豚の臓器もバーベキューして命の源を皆で感謝していただくことができました。

そして、引きこもりとニートの青年も、収穫の指導や食事の用意から片付けまで率先して手伝ってくれました。相手と目を合わす事も、挨拶もまともにできなかったひきこもりの青年達が、今では相手を思いやり、農作業を通してさまざまな人々との出会いから人間として成長されたその姿から、ボランティアの原点に、改めて感動しました。

3・11の地震と津波、そして原発災害はこれまでの震災以上に物事を複雑にしており、どう乗り越えればいいのか?そして私たちは避難者とうつ接すればいいのでしょうか?「先ずは生命や生活の安全が確保されること、そして次は誰かが愛してくれている、心配してくれていると感じ、一人ではない、見捨てられていないと知ること。それには元の関係を取り戻そうとするのである、新しい人間関係を築いていこうとする」ことが大切で、それにはトラウマを抱えた本人の話をじっくりと聞きながら見極めていくしかない」と、医師であるLサイヤッド理江が



教えてくれました。相手の話を聞き続けるということは、すべての人のできることです。今後もトンボ隊は、この1年毎月1回、「トンボ隊カフェ」で集い、継続して関わっていくことで、心の支援を行っていく予定です。

皆様のご支援ご協力もお待ちしております。

またこの場を借りて、この度は、当クラブ会員以外にも、ご参加協力いただきましたノンライオンの方々、千歳中央LCの皆さん、札幌創成LCの皆さんにお礼申し上げます。



日本ライオンズ女性会員 フォーラムへ参加して

札幌西ライオンズクラブ

会長 L 設楽 幸子



開会式の様子。挨拶は、アメリカのLソニア・プリー国際理事。

2011年10月1日(土)に、ヒルトン東京ベイホテルにおいて北海道から九州まで225名が集り「日本ライオンズ女性会員フォーラム」が開催され参加してきました。フォーラムでは、「女性会員／若手会員の増強」について23テーブルに分れてテーブルディスカッションを行ない話し合われ

た内容を全体で共有しました。

フォーラムには、お二人の女性国際理事Lグッドラン・イングバドター(アイスランド)、Lソニア・プリー(アメリカ)も参加され、アイスランドでは、会員が急増しているがそのほとんどが女性会員とのこと。Lグッドラン・イングバドター国際理事が活動されている地区では、2年か3年に一度は、女性ガバナが誕生しているとのこと、女性ライオンの活躍が著しいということも印象的でした。

今回、私が参加した目的は2つありました。1つは、現在17期クラブ会



テーブルディスカッションの様子。

長を務めています。当クラブで初めての女性会長ということもあり、戸惑う事も多く、自分の役割を十分に果たせていないのではないかの思いから、全国の女性ライオンはどのようなことに心がけてクラブ運営を行っているのかを聞きたかったからです。2つ目は、クラブにとっては永遠の課題ともいえる会員増強を、どのような思考を凝らしながら励んでいるのかを知りたくて参加しました。

年齢もライオン暦も職種も考え方も異なる全国の女性ライオンの皆さんでしたが、意識の高さを強く感じることができ、男性ライオンに負けないくらいの熱い思いとプライドを持ってライオンズ活動に励んでいることが判り、たくさんさんの刺激と今後のライオンズ活動へ活かせる多くのヒントを得ることができたフォーラムでした。ライオン暦10年とまだまだ経験浅い私ですが、なお層奉仕活動に勤しむとともに、クラブの発展、女性ライオンの活性化の一助となれるよう今後ともライオンズ活動に励んで行きたいと思います。

今回は来年福岡で開催されます。是非、皆さんも熱気あるフォーラムへ参加してみてください。



知的障がい者の ドキュメンタリー映画

エル・セブン会(札幌時計台LC所属)

事務局長 L 池田 謙一

2011年10月3日(月)、エル・セブン会(2007年幹事OB有志の会)の定例会合に細川元首相夫人の細川佳代子様をお招きし講話を頂きました。

実は、細川夫人は、知的障がい者スペシャルオリンピックスの日本名誉会長でもあります。このたびの札幌入りは、知的障がい者が地域とながって生活する様子を撮影したドキュメンタリー映画のPRを兼ねてのもの。

この映画の主演は、長崎県雲仙市で活動するプロの和太鼓奏者「瑞宝太鼓」のメンバー6人。ひたむきな練習を重ねて2001年4月にプロになつて以来年間100回以上の国内公演のほか海外でも活躍。昨年の東京国際和太鼓コンテストでは堂々全国2位(優秀賞)に輝きました。

この映画の製作総指揮を務めたのが細川夫人。障がい者の自立支援をライフワークとする細川夫人が



正面右から3番目が細川夫人です。

小栗謙一監督と組んだ4本目の映画製作。細川夫人が、長崎県雲仙を訪ねた際に、「知的障がい者と健常者が支えあって生きる社会の姿がここにあり」と映画製作を決意され、昨年12月に完成。その後5月の東京上映を皮切りに全国を飛び回って鑑賞を呼びかけています。映画のタイトルは、「幸せの太鼓を響かせて INCRUSION」10月8日から14日までシアターキノでロードショー。

エル・セブンのメンバーは圧倒的な迫力で熱く語りかける細川夫人の話にすっかり魅了され「是非映画



かもめの親子

札幌ライオンズクラブ

川村 惺馬

鑑賞します。」との声が飛び交っていました。最後に、参加したエル・セブンのメンバー全員で細川夫人を囲んで記念撮影し、それぞれに握手で激励しお別れしました。

投げ釣りを始め、趣味として仲間での釣りの会を創って50年近くになる。九月の例会でエリモ岬港へ行つたときのことである。十時のメ切り時間が近くなり、釣った魚を審査に出すべく「審査方法は1尾身長（1ミリ1点）プラス5尾重量（10グラム1点）の合計点数」小さい魚を堰堤の上から、港内の広場へ、小さいアブラコ・ハゴトコを数匹投げてやると遠くに居たカラスやカモメが群がって来た。カラスとカモメによる魚の争奪戦が始まった。大抵は体力に勝るカモメが勝利する訳だが、カラスは負けた振りをして、少し距離を置き静かに近づき、スキを狙っては、魚の目や、腹を突きに入る。カモメは30cm近

いアブラコでも鵜なみによくこんな大きいと思える魚でも、頭の方から呑み込んでしまう。

そこにカモメの子供がやって来た。カモメの親鳥は白いが、子供は体が大きくても体毛が茶色っぽくはつきり分かる。そこには小さなハゴトコが一匹残って居た。カラスは突つきに来る、親カモメは追い払う、そこで子供のカモメは呑み込むことが出来ずジャレ遊んでいる。親カモメは見守っているところに、もう一羽兄弟なのか降りて来た。子カモメ2羽で突ついで遊んでいる。カラスがスキを見てはチョツカイを出す、親が追い払うのくり返し。そこでようやく体の大きい方の子カモメが喉をふくらませながら呑み込んだ。

カモメの親子の姿がほほ笑ましく思えた反面、カラスのしたたかさが目に付いた。もともと、カモメは水中又は海に浮いているもの、カラスは丘のものという具合に暗黙の分野協定があつたはずだが、この頃では仁義なき戦いで、早い者勝ち、体力勝負が全てと思えた。このところの疲弊された社会を凝縮したようにも見たなかに、カモメの親子の姿にホッとしたひとときであった。

砂川ライオンズクラブ

会長スローガン 優しくて穏やかな心 力強く責任のある奉仕

会長 L 外川 美秀

幹事 L 中谷 数正

会計 L 東 英男

ライオンテーマ L 広庭 里美

テーブルツイスター L 浅野 博

事務局／〒073-0164 砂川市西4条北4丁目1-2 砂川商工会議所
TEL 0125-52-4294 FAX 0125-52-4296 E-mail:sunacci@ninus.ocn.ne.jp

ライオンズクラブ国際協会 331-A地区 第3R第1Z

札幌東ライオンズクラブ



会長スローガン 『和の心 新たな絆でウィサーブ』



会長 L前田 玲子

幹事 L泉亭 実

会計 L山本 晋

札幌東ライオンズクラブ 会員名

L庵原 宏章 (331-A地区ガバナー)	L相澤 隆通	L采女 奈穂子	L小野内 雅子
L小野塚 悟	L岸本 幹夫	L木村 直之	L小平 康夫
L小柳 雄弘	L Sayyad 理江	L佐藤 大輔	L澤田 隆夫
L澤谷 弘司	L篠原 正子	L下益田 法生	L城丸 隆
L菅野 英幸	L高橋 君城	L谷山 直樹	L田上 和子
L辻岡 公夫	L中原 美郷	L中山 正人	L名越 隆雄
L伴野 義仁	L藤井 則俊	L藤原 守	L廣野 喜代子
L堀 知	L松田 総夫	L三宅 尚隆	L森 浩和
L八木 彰一	L柳澤 三郎		
	L渡瀬 和男		



【事務局】〒060-0054 札幌市中央区南4条東4丁目2-1 さくら総合会計ビル内
 TEL011-222-2209 FAX011-222-2219 E-mail sapporohigashi@dao.or.jp
<http://www.e-clubhouse.org/sites/sapporohigashi>

【会員動向】

		331-A地区						
		1 R	2 R	3 R	4 R	5 R	6 R	合 計
期 首	L C 数	13	16	8	11	15	8	71
	会 員 数	448	545	332	332	481	313	2,451
	内、家族会員数	16	13	9	6	9	0	53
8月末	L C 数	13	16	8	11	15	8	71
	会 員 数	449	545	332	341	492	320	2,479
	内、家族会員数	16	13	9	6	9	2	55
9月末	L C 数	13	16	8	11	15	8	71
	会 員 数	447	542	331	339	491	323	2,473
	内、家族会員数	17	13	9	6	9	2	56
期首～9月末 会員増減数		▲1	▲3	▲1	7	10	10	22

【アクティビティ活動状況】

	8月計		9月計		11-12年度 累計	
金 額 ア ク テ ィ ビ テ ィ	241件	19,266,557円	146件	11,141,387円	469件	39,681,213円
事 業 資 金 獲 得	8件	2,872,753円	8件	1,662,383円	19件	5,316,136円
労 力 ア ク テ ィ ビ テ ィ	73件	4844H	115件	5410H	280件	14807H
献 血	14件	293,600cc	18件	369,400cc	44件	996,000cc
アイバンク登録者	12人		11人		50人	
角 膜 提 供 者	0人		0人		0人	
薬物乱用防止教室 開催件数	1件		1件		7件	
薬物乱用防止教室 動員数	108名		7名		624名	
使 用 済 み 切 手	71,318枚		259,332枚		607,311枚	
書 き 損 じ 葉 書	4枚		2,218枚		2,225枚	
使 用 済 み プ リ カ	148枚		1,562枚		3,097枚	
例会、アクティビティ等の招待者	629名		346名		2498名	



選べる楽しさ 忘年会プラン

ノボテル札幌のパーティプランは、洋食・和食・中華・デザートと全60品よりお選びいただく人気のフルチョイススタイル！

イ子ゴジ 人数10名様～180名様 おひとり様 **¥8,000** コース

全8品(乾杯用スパークリングワイン付き)+2時間フリードリンク

※そのほか6,000円からご用意しております。

ノボテル札幌

〒064-8561 札幌市中央区南10条西6丁目1-21 TEL:011-561-1000(代表) TEL:011-513-0615(営業直通)

URL www.novotelsapporo.com E-mail info@novotelsapporo.com 便利な無料循環シャトルバス運行中

1R2Z 札幌中島ライオンズクラブ

【M・J・F(メルビン・ジョーンズ・フェロー)】

LCIF拠金集計表	8月分合計	クラブ数:18クラブ	人数:104人	金額:8,016,996円
	9月分合計	クラブ数: 4クラブ	人数: 7人	金額: 539,000円
	今期累計	クラブ数:32クラブ	人数:126人	金額:9,770,996円

【M・J・F(メルビン・ジョーンズ・フェロー)】

【8月分】

L谷 征輝 (札幌) 5回目	L辻 勝之 (札幌中島) 2回目	L栗原眞由美 (札幌もいわ) 3回目
L猪谷 嘉健 (札幌フロンティア) 5回目	L高橋 義孝 (札幌中島) 2回目	L西村 智 (札幌もいわ) 8回目
L桶谷 賢知 (札幌フロンティア) 32回目	L小玉 享幸 (札幌中島) 4回目	L吉田三千代 (札幌もいわ) 1回目
L河村 和義 (札幌フロンティア) 16回目	L新屋 雅良 (札幌中島) 2回目	L岩波 剛 (札幌大通) 3回目
L武田 聡 (札幌フロンティア) 5回目	L中野 正敬 (札幌中島) 2回目	L佐々木俊幸 (札幌大通) 3回目
L武田 聡 (札幌フロンティア) 6回目	L松田 真一 (札幌中島) 1回目	L下倉 孝 (札幌大通) 18回目
L渡辺 充規 (札幌フロンティア) 15回目	L松田 真一 (札幌中島) 2回目	L平 博 (札幌大通) 1回目
L佐藤 智裕 (札幌フロンティア) 3回目	L鬼頭 直樹 (札幌中島) 1回目	L小野寺眞悟 (札幌北の杜) 5回目
L北村光一郎 (札幌清田) 8回目	L鬼頭 直樹 (札幌中島) 2回目	L竹内 武司 (札幌時計台) 17回目
L西國 宏治 (札幌清田) 3回目	L佐々木義仁 (札幌中島) 1回目	L堂畑 時雄 (札幌時計台) 8回目
L斉藤 忠明 (札幌清田) 4回目	L佐々木義仁 (札幌中島) 2回目	L能澤 正明 (札幌時計台) 7回目
L木根 栄三 (札幌清田) 5回目	L米澤 公市 (札幌中島) 2回目	L山田 清司 (札幌時計台) 6回目
L石丸 貞雄 (札幌清田) 8回目	L土蔵知恵朗 (札幌中島) 1回目	L村太 悦郎 (札幌時計台) 4回目
L山田 敏夫 (札幌清田) 1回目	L土蔵知恵朗 (札幌中島) 2回目	L角田 昭平 (札幌バイオニア) 3回目
L鈴木 憲一 (札幌清田) 3回目	L大沢 敏樹 (札幌中島) 1回目	L田嶋 端 (札幌バイオニア) 9回目
L岡本代司江 (札幌中島) 2回目	L大沢 敏樹 (札幌中島) 2回目	L徳川 真智 (札幌バイオニア) 6回目
L斉藤 克彦 (札幌中島) 2回目	L奥山 竜也 (札幌中島) 1回目	L高橋 和央 (札幌バイオニア) 1回目
L白田 艶子 (札幌中島) 2回目	L奥山 竜也 (札幌中島) 2回目	L竹内 絢子 (札幌グリーン) 3回目
L高橋 照行 (札幌中島) 2回目	L畑中 謙吾 (札幌中島) 1回目	L美馬 剛 (札幌わかば) 2回目
L辻 博司 (札幌中島) 2回目	L畑中 謙吾 (札幌中島) 2回目	L藤井 一男 (札幌わかば) 3回目
L津村 進 (札幌中島) 9回目	L金澤 一 (札幌中島) 1回目	L後藤 久雄 (札幌わかば) 3回目
L鶴嶋 浩二 (札幌中島) 19回目	L金澤 一 (札幌中島) 2回目	L遠藤 壮 (札幌わかば) 3回目
L鶴嶋 浩二 (札幌中島) 20回目	L江畑 隆司 (札幌中島) 1回目	L今野 好信 (札幌ポプラ) 23回目
L手島 克彦 (札幌中島) 2回目	L江畑 隆司 (札幌中島) 2回目	L中西 雄二 (札幌ライラック) 21回目
L中嶋 栄仁 (札幌中島) 2回目	L大島 一雄 (札幌中島) 1回目	L細川 勉 (札幌はまなす) 2回目
L橋本 茂美 (札幌中島) 2回目	L大島 一雄 (札幌中島) 2回目	L菊池 清 (札幌西) 18回目
L濱口 敏博 (札幌中島) 3回目	L浅野 盛光 (札幌中島) 1回目	L設楽 幸子 (札幌西) 1回目
L濱口 敏博 (札幌中島) 4回目	L浅野 盛光 (札幌中島) 2回目	L伊藤 良作 (芦別) 2回目
L山下 秀吾 (札幌中島) 2回目	L阿知良寛美 (札幌中島) 1回目	L沼田 哲男 (芦別) 2回目
L横川 浩輝 (札幌中島) 2回目	L阿知良寛美 (札幌中島) 2回目	L相河 孔明 (芦別) 10回目
L佐藤 高雄 (札幌中島) 2回目	L鈴木 一樹 (札幌中島) 1回目	L山田 忠明 (滝川中央) 21回目
L樋口 修三 (札幌中島) 2回目	L鈴木 一樹 (札幌中島) 2回目	L白井 哲夫 (江別) 3回目
L小北 一徳 (札幌中島) 2回目	L池田 鐵雄 (札幌もいわ) 12回目	L富樫 要 (江別) 5回目
L石丸 真之 (札幌中島) 2回目	L池畑 學 (札幌もいわ) 6回目	L堀井 常彰 (江別) 5回目
L北嶋 英樹 (札幌中島) 2回目	L及川 正一 (札幌もいわ) 12回目	

■札幌中島LC200%MJF達成

【9月分】

L早坂 篤子 (札幌清田) 1回目	L能登 昭夫 (札幌エルム) 13回目	L岡田 忠恭 (札幌グリーン) 6回目
L木村 信也 (札幌清田) 9回目	L松田 達夫 (札幌もいわ) 3回目	
L齊田 博文 (札幌清田) 1回目	L横井 救 (札幌もいわ) 4回目	



世界中から秀作をお届けします。

日本一安い入場料で、日本一ぜいたくな座席で

燦 SASORI-ZA 産

〒060-0809 札幌市北区北9条西3丁目 タカノビルB1 TEL011-758-0501

2R2Z 札幌グリーンライオンズクラブ

新入会員のご紹介 [2011～2012年度 ライオンズクラブ国際協会331-A地区]



札幌クラークライオンズクラブ

もり たに みず ほ
森谷 瑞穂 入会年月:2011年8月
スポンサー:L川合 則夫
●みずほ総合法律事務所 所長
●生年月日:1975年12月27日
●勤務先住所
〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目 藤井ビル2階
●TEL:011-280-8888



札幌清田ライオンズクラブ

すず き しん いち
鈴木 慎一 入会年月:2011年8月
スポンサー:L荒井 喜和
●稚内信用金庫清田支店 支店長
●生年月日:1964年10月31日
●勤務先住所
〒004-0841 札幌市清田区清田1条4丁目1-40
●TEL:011-886-5588



札幌スノートピアライオンズクラブ

かめ むら まさ よし
亀村 昌佳 入会年月:2011年9月
スポンサー:L伊藤 政信
●㈱ソニック チーフコンサルタント
●生年月日:1968年10月1日
●勤務先住所
〒064-0801 札幌市中央区南1条西22丁目2-5
●TEL:011-640-6700



札幌エルムライオンズクラブ

みや ざき あつし
宮崎 敦 入会年月:2011年8月
スポンサー:L近間 敬治
●㈱ファーマシー さくら 代表取締役
●生年月日:1960年3月28日
●勤務先住所
〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目41 セコム損保ビル
●TEL:011-242-1170



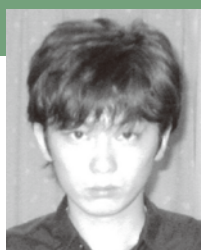
札幌東ライオンズクラブ

たか はし きみ しろ
高橋 君城 入会年月:2011年10月
スポンサー:L中根 敏得
●㈱もみの木鍼灸院 代表取締役 院長
●生年月日:1960年8月10日
●勤務先住所 〒061-2283
札幌市南区藤野3条4丁目10-2
●TEL:011-594-2244



札幌エルムライオンズクラブ

しら たき とし ひろ
白瀧 敏大 入会年月:2011年9月
スポンサー:L中島 尚俊
●アート工業㈱ 代表取締役社長
●生年月日:1969年12月21日
●勤務先住所
〒060-0032 札幌市中央区北2条東11丁目23-12
●TEL:011-261-8240



札幌はまなすライオンズクラブ

みず の しん た ろう
水野新太郎 入会年月:2011年8月
スポンサー:L岩木 雅嗣
L鈴木 又男
●日新火災海上保険㈱ リスクアドバイザー
●生年月日:1981年11月6日
●勤務先住所 〒060-0063 札幌市中央区南3条
西3丁目12-1 札幌トーキョービル7F
●TEL:011-241-1315



札幌もいわライオンズクラブ

たか はた のぶ お
高畠 宣雄 入会年月:2011年9月
スポンサー:L吉田 三千代
●環境資源 株式会社 代表取締役
●生年月日:1942年1月31日
●勤務先住所
〒003-0025 札幌市白石区本郷通8丁目北8-17 本郷センタービル
●TEL:011-868-5475



岩見沢グリーンライオンズクラブ

い ず くら まさ ひろ
伊豆倉昌宏 入会年月:2011年9月
スポンサー:L大橋 秀美
●ネットヨタ札幌 ブロック長
●生年月日:1953年7月10日
●勤務先住所
〒068-0853 岩見沢市大和3条9丁目3-1
●TEL:0126-22-6111



札幌すすきのライオンズクラブ

あら き しげ み
荒木 重視 入会年月:2011年10月
スポンサー:L北村 進
●㈱国際医療技術研究所 プロジェクトディレクター
●生年月日:1981年2月17日
●勤務先住所
〒001-0027 札幌市北区北27条西9丁目5-24
●TEL:011-776-6491



滝川ライオンズクラブ

まつ ばら しん じ
松原 信二 入会年月:2011年8月
スポンサー:L高桑 純啓
●㈱松原包装資材 滝川営業所 営業所 所長
●生年月日:1971年2月26日
●勤務先住所
〒073-0021 滝川市本町2丁目6-13
●TEL:0125-23-2953



札幌北の杜ライオンズクラブ

みや とう いずみ
宮東 泉 入会年月:2011年9月
スポンサー:L竹田 章仁
●株式会社 三晃空調 北海道営業所 所長
●生年月日:1963年1月31日
●勤務先住所 〒064-0806 札幌市中央区北11条
西3丁目 3番地住友信託ビル7階
●TEL:011-221-6051



赤平ライオンズクラブ

まつ かわ ひろ ゆき
松川 博幸 入会年月:2011年7月
スポンサー:L鈴木 高次

- 寿しの松川 店主
- 生年月日:1970年10月1日
- 勤務先住所
〒079-1141 赤平市大町1丁目2番地
- TEL:0125-32-3065



芦別ライオンズクラブ

おお さき よし み
大崎 芳美 入会年月:2011年10月
スポンサー:L浅井 富雄

- 日本生命保険(相) 芦別営業所 所長
- 生年月日:1975年12月23日
- 勤務先住所
〒075-0001 芦別市北1条西1丁目
- TEL:0124-22-2110



江別グリーンライオンズクラブ

つ だ より あき
津田 頼明 入会年月:2011年9月
スポンサー:L宮崎 孝志

- 南メルカトル 代表取締役
- 生年月日:1964年12月5日
- 勤務先住所
〒069-0817 江別市野幌代々木町45-26
- TEL:011-391-3003



芦別ライオンズクラブ

か とう ゆずる
加藤 穰 入会年月:2011年10月
スポンサー:L滝澤 量久

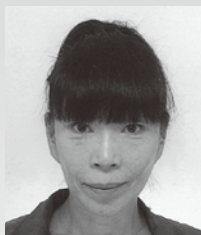
- 南加藤農場 代表取締役
- 生年月日:1964年8月21日
- 勤務先住所
〒079-1372 芦別市野花南町662番地
- TEL:0124-27-3062



[北竜ライオンズクラブ]
ふじ い しげ のぶ
藤井 重寿

2011年9月7日
享年89歳

1976年7月～77年6月 入会・チャーターメンバー
1979年7月～80年6月 北竜LC会長(第4代)
1999年11月 終身会員



[千歳中央ライオンズクラブ]
くわ つか
鋤塚 なほみ

2011年8月19日
享年63歳

2011年7月～12年6月 計画委員長



[千歳中央ライオンズクラブ]
まえ だ とよ し
前田 豊司

2011年10月17日
享年66歳

1995年7月～96年6月 千歳中央LC会長
2003年7月～04年6月 千歳中央LC会長(2回目)
2011年7月～12年6月 会員・会則委員長

訃 報

心よりご冥福をお祈り申し上げます



[札幌エルムライオンズクラブ]
なか じま なお とし
中島 尚俊

2011年9月
享年64歳

2003年7月～04年6月 社会福祉委員長
2004年7月～05年6月 会計
2005年7月～06年6月 会計監査
2009年7月～10年6月 会長
2011年7月～ 接待委員長
2006年7月～07年6月 地区ライオンズクエスト委員長



[岩見沢グリーンライオンズクラブ]
ほり とし かつ
堀 敏一

2011年9月28日
享年65歳

2003年7月～04年6月 青少年市民委員会委員
2004年7月～05年6月 PR委員会委員
2005年7月～06年6月 保健委員会委員
2006年7月～07年6月 社会福祉委員会委員
2007年7月～08年6月 保健委員会委員
2008年7月～今 期 青少年・社会福祉委員会・委員



ライオンズクラブ国際協会331-A地区 キャビネット組織表 [2011-2012年度]

元 国 際 理 事	
松 原 文 彌 (札幌クラーク)	杉 本 忠 夫 (札幌ライラック)

前地区ガバナー・地区名誉顧問会議長	
山 口 富 雄 (札幌クラーク)	

元地区ガバナー・地区名誉顧問	
鍵 谷 光 三 (岩見沢中央)	岩 井 淳 佳 (札幌アカシヤ)
春 野 守 夫 (札幌もいわ)	古 谷 野 環 (美 唄)
近 藤 富 貴 雄 (滝川グリーン)	桶 谷 賢 知 (札幌フロンティア)
木 村 伸 男 (岩見沢中央)	秋 庭 一 富 (札幌エルム)
定 岡 孝 明 (深 川)	瀧 澤 嘉 門 (札幌ポプラ)
坂 本 齊 (札幌エルム)	宮 脇 寛 海 (恵 庭)
藤 原 聖 (札幌スノートピア)	伊 藤 信 賢 (札幌中島)
竹 内 武 司 (札幌時計台)	

GMT 地区コーディネーター	
堂 畑 時 雄 (札幌時計台)	

GLT 地区コーディネーター	
杉 浦 勝 利 (札幌まるやま)	

LCIF開発 地区コーディネーター	
徳 川 真 智 (札幌バイオニア)	

地区PR・ライオンズ情報委員会	
委 員 長 辻 岡 公 夫 (札幌東)	
副委員長 藤 原 守 (札幌東)	
地区PR委員	1R 酒 井 渉 (札幌オーロラ)
	2R 福 田 茂 雄 (札幌まるやま)
	3R 柳 田 浩 道 (札幌ライラック)
	4R 大 谷 健 治 (由 仁)
	5R 野 崎 光 男 (芦 別)
情報委員	6R 水 高 博 保 (恵 庭)
	中 山 正 人 (札幌東)
	谷 山 直 樹 (札幌東)
	佐 藤 大 輔 (札幌東)

地区年次大会委員会	
委 員 長 津 村 進 (札幌中島)	
副委員長 矢 部 泰 三 (札幌中島)	

地区会則委員会	
委 員 長 中 根 敏 得 (札幌東)	
副委員長 Sayyad 理 江 (札幌東)	
地区YE委員会	
委 員 長 小 林 忠 (札幌西)	
副委員長 川 原 護 (札幌西)	
地区指導力育成委員会	
委 員 長 石 黒 諒 (札幌新星)	
副委員長 高 橋 智 春 (札幌新星)	
地区薬物乱用防止委員会	
委 員 長 荒 木 順 一 (札幌スノートピア)	
副委員長 小 野 孝 史 (札幌スノートピア)	
地区IT委員会	
委 員 長 宮 本 康 紀 (札幌ポプラ)	
副委員長 坪 井 大 輔 (札幌ポプラ)	
地区青少年委員会	
委 員 長 金 子 雅 行 (札幌中島)	
副委員長 大 瀧 泰 子 (札幌中島)	

地区会員・エクステンション委員会	
委 員 長 山 崎 晴 生 (札幌はまなす)	
副委員長 渡 邊 隆 一 (札幌はまなす)	
地区環境保全委員会	
委 員 長 藤 井 則 俊 (札幌東)	
副委員長 名 越 隆 雄 (札幌東)	
地区ライオンズクエスト委員会	
委 員 長 佐 々 木 博 一 (札幌東)	
副委員長 小 野 内 雅 子 (札幌東)	
地区献眼・献血委員会	
委 員 長 網 野 敏 (札幌リパティ)	
副委員長 河 上 太 (札幌リパティ)	
地区女性・青年会員増強委員会	
委 員 長 樋 口 信 弘 (札幌グリーン)	
副委員長 竹 内 絢 子 (札幌グリーン)	
地区特別震災委員会	
委 員 長 山 谷 勝 義 (札幌ライラック)	
副委員長 山 崎 政 義 (札幌ライラック)	

4R		5R			6R	
1Zゾーン・チェアパーソン	2Zゾーン・チェアパーソン	1Zゾーン・チェアパーソン	2Zゾーン・チェアパーソン	3Zゾーン・チェアパーソン	1Zゾーン・チェアパーソン	2Zゾーン・チェアパーソン
武 田 政 雄 (三 笠)	伊 部 隆 幸 (由 仁)	相 河 孔 明 (芦 別)	高 塚 慶 次 (そ ら ち)	東 原 廣 志 (深 川)	堀 井 常 彰 (江 別)	島 田 道 朗 (恵 庭)
岩 見 沢 中央 美 唄 笠 三 笠 形 月 形 岩 見 沢 中央 岩 見 沢 グリーン	夕 張 中 央 長 沼 南 幌 由 仁 岩 見 沢 メーブル	滝 川 別 芦 平 赤 乙 江 部 新 十 津 川 滝 川 中 央	砂 川 奈 井 江 そ ら ち 滝 川 グリーン	深 沼 川 秩 父 田 雨 北 別 竜	江 別 当 狩 石 狩 江 別 グリーン	千 歳 恵 庭 北 広 島 千 歳 中 央
4R1Z地区ゾーン委員	4R2Z地区ゾーン委員	5R1Z地区ゾーン委員	5R2Z地区ゾーン委員	5R3Z地区ゾーン委員	6R1Z地区ゾーン委員	6R2Z地区ゾーン委員
池 下 且 則 (三 笠)	高 橋 宗 瑛 (由 仁)	小 塚 弘 昌 (芦 別)	佐 藤 輝 己 (そ ら ち)	梶 川 寛 (深 川)	大 桃 壽 榮 (江 別)	島 田 圭 一 (恵 庭)

国際会長テーマ

I BELIEVE
〜信じる

ガバナーズローガン

英知の奉仕と組織の活性化

地区ガバナー

庵原 宏章（札幌東）

会計監査

監査委員	澤田 隆夫（札幌東）
監査委員	佐々木 俊幸（札幌大通）

外部監査人

--

地区長期計画リサーチ委員会

委員長	桶谷 賢知（札幌フロンティア）
1R	森 隆司（札幌清田）
2R	前川 忠男（札幌アカシヤ）
3R	月居 吉彦（札幌スノートピア）
4R	井村 勇夫（由仁）
5R	桑原 青史（深川）
6R	細田 富夫（江別）

副地区ガバナー

第一副地区ガバナー	渡辺 修（美唄）
第二副地区ガバナー	小野寺 眞悟（札幌北の杜）

幹事・会計

幹事	木戸 善幸（札幌東）
会計	田上 和子（札幌東）

事務局

事務局長	藤井 則俊（札幌東）
副事務局長	松田 総夫（札幌東）

幹事・会計補佐

筆頭副幹事	清水 克也（札幌東）
副幹事	堀 知（札幌東）
副幹事	藤原 廣昭（札幌東）
副幹事	松原 智明（札幌東）
副幹事	伴野 義仁（札幌東）
副幹事	柏崎 昭朗（岩見沢中央）
副幹事	森田 征男（札幌北の杜）
副会計	藤本 和己（美唄）
副会計	安孫子 信義（札幌北の杜）

地区YE委員

1 R 1 Z	蛇 沼 実（札幌）	4 R 1 Z	杉 渕 勝由（三笠）
1 R 2 Z	中 島 賢一（札幌オーロラ）	4 R 2 Z	高 橋 宗瑛（由仁）
2 R 1 Z	菊 池 誓子（札幌まるやま）	5 R 1 Z	池 田 昇（芦別）
2 R 2 Z	武 部 孝彦（札幌わかば）	5 R 2 Z	川 端 克利（そらち）
3 R 1 Z	碓 氷 晴夫（札幌リパティ）	5 R 3 Z	清 水 一男（深川）
3 R 2 Z	福 田 弘（札幌西）	6 R 1 Z	松 浦 隆（江別）
		6 R 2 Z	櫻 田 透（恵庭）



【目次】 contents

- 国際会長テーマ・ガバナースローガン 01
- 当別町「道民の森」植樹アクティビティ実施報告 02
- 特集 アクティビティを考える“献血活動” 04
- 日韓親善青少年交流事業の再開について 12
- 2011-2012年度 ライオンズクラブ国際331-A地区 リーダーシップセミナー開催 13
- 2011-2012年度 ライオンズクラブ国際331-A地区 第2回キャビネット会議報告 14
- 委員会報告
 - 『第八回薬物乱用防止教育認定講師養成・更新講座』を終えて 15
 - [地区YE委員会報告]夏期YE生派遣 16
 - [地区YE委員会報告]トルコに派遣させていただいて学んだこと 17
 - [地区YE委員会報告]地区YE委員会活動を終えてお伝えしたいこと 18
- トピックス 札幌中島ライオンズクラブがメルビン・ジョーンズ・フェロー200%達成 19
- リジョン特集(2R) 20
- リジョン特集(5R) 38
- クラブ報告
 - 札幌創成ライオンズクラブ 54
 - 美唄ライオンズクラブ 55
 - 芦別ライオンズクラブ 56
 - 札幌オーロラライオンズクラブ 57
 - 札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ 58
 - 美唄ライオンズクラブ 60
 - 滝川中央ライオンズクラブ 62
 - 江別ライオンズクラブ 63
 - 千歳ライオンズクラブ 64
- LION'S VOICE 会員自由投稿 66
- 会員動向・アクティビティ活動状況 70
- 新入会員のご紹介 72
- キャビネット組織表[2011-2012年度] 74

自由投稿してみませんか？

エコ誌に掲載する以下の内容を、募集しています。皆様からの投稿をお待ちしています。

- 随筆[800字以内] ■コラム(身近な小文)[600字以内] ■詩[400字以内] ■短歌[三首以内]
- 俳句・川柳[五句以内] ■趣味・美術・写真[400字以内の紹介文と掲載の写真]
- ご意見・ご提案[600字以内] ※投稿点数が多数の場合は、割愛させて頂くこともあります。

年男・年女 投稿大募集！ 1月号掲載！

2012年に年男・年女となる会員の皆様を対象に、2012年1月号に特集として掲載する原稿を募集しています！テーマは自由。800字以内でお書きください！



ライオンズ川柳大募集！ 2012年4月締切

ライオンズクラブの活動をテーマにした川柳を募集します！（例：植樹から 地域に広がる 緑の輪）応募頂いた作品は、エコ誌に掲載。さらに、2012年6月発行のエコ誌では大賞を発表します。

自由投稿・年男年女 投稿・ライオンズ川柳の応募はライオンズクラブ国際協会331-A地区 地区PR・ライオンズ情報委員会まで、お願いいたします。[E-mail:info@lc331-a.jp]

滝川中央ライオンズクラブ

僕たちは
このフィールドを忘れない



今年度30周年を迎える当クラブは、記念アクティビティとして第12回「滝川中央ライオンズカップ中学校サッカー大会」を、東北地方で被災した2校のサッカー部を招き、交流大会としました。

両地方の中学生の記憶にしっかり残る大会であったと実感しています。

会長
第一副会長
第二副会長
幹事
会計
前会長
理事
〃
〃
〃
〃
〃
〃
〃
ライオン・テーマ
ール・ツイスター
計画委員長
PR委員長

三河 義憲
上田 信康
古館 博嗣
佐々木 卓洋
原 健之
岩村 征一
山根 仁
毛利 昭夫
山田 忠明
円山 照康
室 雅夫
新井 清巳
三戸部 隆
織田 繁男
岡本 勝久
藤井 英勝
江向 雅見
長田 勇
齊藤 稔
菅原 三男
本野 俊雄
南崎 勇
林 孝幸
牧野 勝好
渡辺 道男
男澤 伸一
菅原 紀久雄
菅原 宏
市川 淳一
田村 弘
岸 和憲
幅田 利一
川村 信夫
松本 敏之
山下 克明
越中 直正
表谷 美由貴
高谷 浩明
後藤 康徳
干場 光雄
前田 秀三
酒井 英明
高橋 芳美

5R1Z 滝川中央ライオンズクラブ

北海道住電精密株式会社

HOKKAIDO SUMIDEN PRECISION CO.,LTD.

住友電工の超硬工具 イゲタロイ 刃先交換型チップ 製造

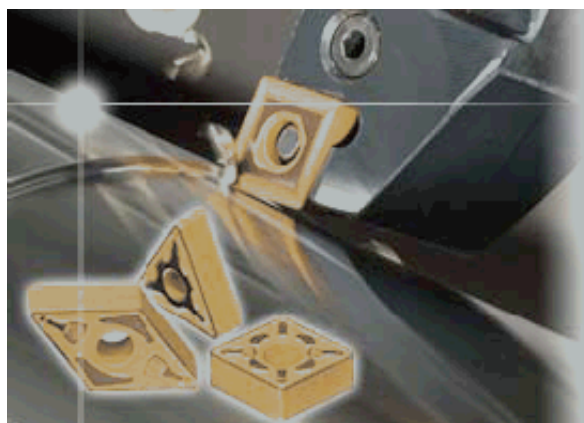
高度な粉末冶金技術とファクトリーオートメーションを融合
北海道の大地から最先端の技術と品質を世界へ



〒079-0304 北海道空知郡奈井江町字奈井江776

TEL (0125) 65-5501

<http://www.nnss.co.jp/hokkaido/>



5R2Z 奈井江ライオンズクラブ



ライオンズクラブ国際協会 331-A地区 第五R 第一Z

芦別LC 認証50周年記念

記念式典 2012年6月10日(日)

芦別ライオンズクラブ

〒079-1371 芦別市上芦別町22番地 山林ひとみ宅内

TEL 0124-23-0088

FAX 0124-23-0385

<http://www.11.plala.or.jp/ashibetsu-lc> E-mail a-lc5r1z@cameo.plala.or.jp

会長スローガン『50年の歴史を重んじ さらなる未来へ☆』



会長 伊藤 良作

幹事 沼田 哲男

会計 坂本 恭司

(アイウエオ順)

L相河孔明	L浅井富雄	L伊藤輝雄	L石垣志郎	L石黒政司	L池田 昇	L植田義昭	L舘川勝也	L浦山和雄	L大山義広
L尾矢 茂	L大崎芳実	L兼好哲哉	L川原 茂	L川村伸一	L堀野秀雄	L加藤 稔	L郡 奈美雄	L今野富男	L小林孝二
L小塚弘昌	L小室一征	L坂井哲太郎	L斉藤 進	L斉藤勝美	L佐藤昭夫	L斉藤孝章	L定田 明	L東海林俊道	L末永真一
L滝沢 和	L高瀬敏光	L高砂晴紀	L田森良隆	L高橋勝次郎	L高島義勝	L滝澤量久	L竹村賢一	L千葉義明	L戸邊信一
L中川栄子	L西本勝昭	L野崎光男	L橋爪忠幸	L林 守	L早坂昌文	L樋口 肇	L日山 晋	L藤元 博	L藤岡慎吾
L本保 覚	L松川良一	L松田春美	L水本義男	L水上博樹	L山本 隆	L柳瀬広道	L吉岡隆広	L吉井 忠	山林ひとみ